Axis装着式ソリューション

Axis装着式ソリューション
AXIS W800 System Controller
AXIS TW1200 Mini Bullet Sensor

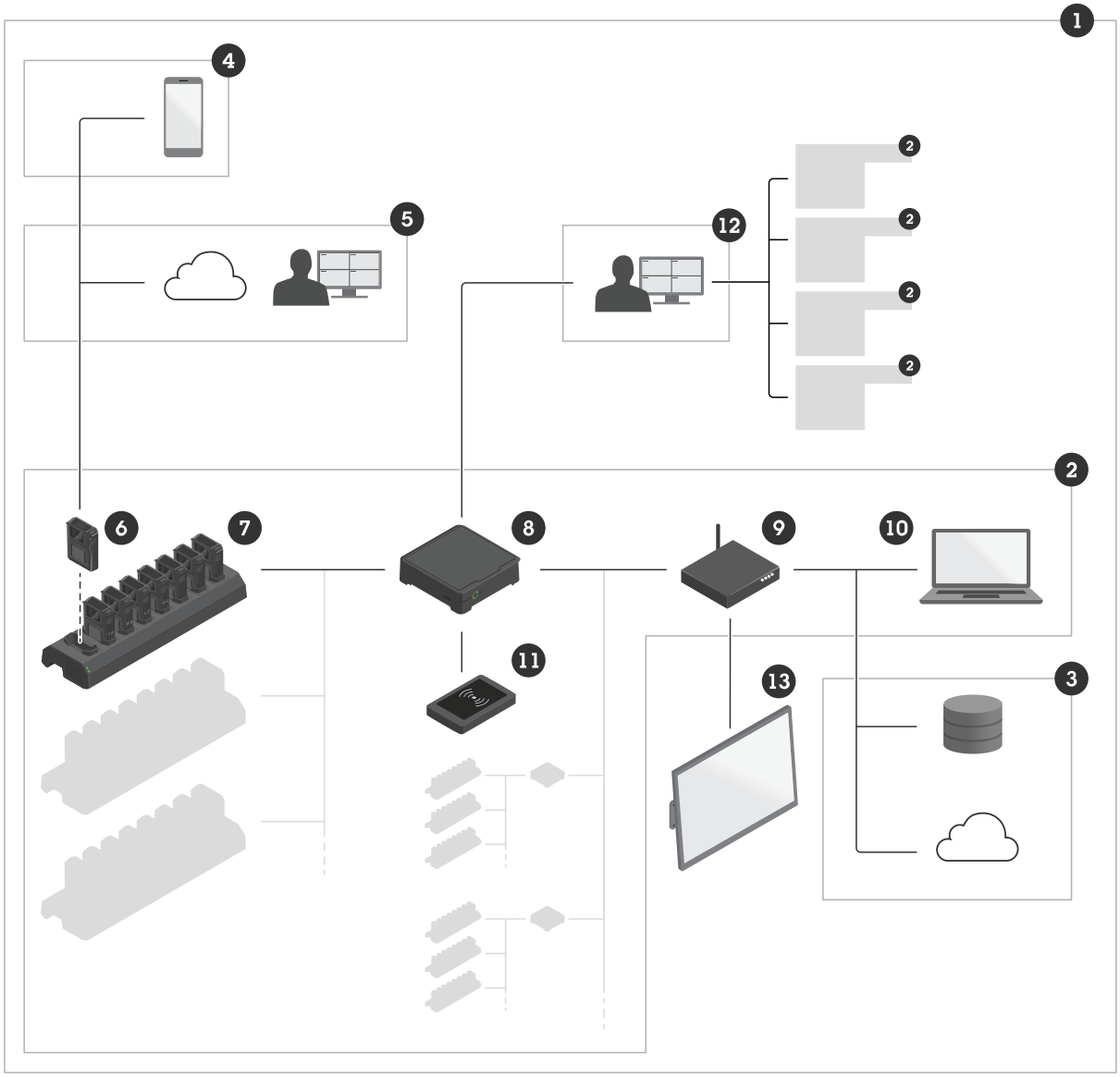
ユーザーマニュアル

目次

これはAxis装着式ソリューションです。 4
最新のリリースの新機能 5
使用に当たって 6
システムの設置 6
初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする 6
安全なパスワード 8
評価モード 8
コンテンツ送信先 9
AXIS Case Insightで録画をユーザーに関連付け 9
カメラを追加する 10
ユーザーの追加 10
新しいユーザーを作成します。 10
ユーザーのインポート 10
カメラへのユーザーの割り当て 11
固定カメラの割り当て 11
自己割り当てによるカメラの割り当て 12
カメラプロファイル 13
カメラプロファイルの編集 13
カメラプロファイルの設定 13
システムの設定 20
AXIS Body Worn Managerを開きます 20
システムの拡張 20
システムコントローラーを追加する 20
システムバックアップを設定する 21
ライブビデオをAXIS Body Worn Liveにストリーミングする 21
録画を自動的に開始する 22
転倒検知 22
アンホルスター検知 22
ワイヤレスブロードキャスト 23
位置情報の記録 23
録画へのアクセスを制限する 24
スタンバイモードでバッテリーを節約する 24
Axisロゴオーバーレイの表示／非表示 25
カメラへのタグ割り当て 25
クラウド拡張機能 25
システムの保護 27
署名付きビデオ 27
録画の信頼性を確認する 27
証明書 27
証明書の署名要求を作成する 27
証明書のインストール 28
802.1xの設定 28
HTTPSのみを許可 28
ユーザーを管理する 30
ユーザを削除 30
ユーザーのエクスポート 30
システムの監視 31
ダッシュボード 31
カメラ使用状況レポートのダウンロード 36
システムコントローラーストレージを監視する 36
カメラがドッキング解除されていた期間の確認 37
証明書の有効期限が切れたカメラの概要の取得 37
別のシステムに属するカメラを検索する 37

電子メール通知の設定 37
システムのメンテナンス 39
パスワードの変更 39
アカウントの追加 39
システムレポートのダウンロード 39
カメラを別の装着式システムに移動 39
接続ファイルを変更する 40
システムからハードウェアを削除する 40
カメラを削除する 40
拡張システムコントローラーを削除 41
システムハードウェアの交換 41
カメラを交換する 41
拡張機能システムコントローラーの交換 42
システムコントローラーの交換 42
システムまたはハードウェアをリセットする 42
カメラのリセット 42
拡張システムコントローラーのリセット 42
システムのリセット 42
ペアリングされた機器を削除する 43
システムのリストア 43
複数のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する 43
単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する 44
カメラをシステムに戻す 45
破損したカメラからの録画の回復 45
システムコントローラーから録画を取得 46
却下されたコンテンツのストレージに録画を転送する 46
録画をUSBストレージデバイスにダウンロードする 46
日付と時刻を調整 47
デバイスのソフトウェア 47
装置ソフトウェアのアップグレード 48
装置ソフトウェアのダウングレード 48
装置ソフトウェアバージョンレポート 48
システムコントローラー 49
製品概要 49
日常的な使用 50
Axis装着式カメラ 52
カメラに関する情報を検索する 52
ブックマーク 52
AXIS Body Worn Assistant 53
カメラユーザーをAXIS Body Worn Assistantとペアリングします。 53
既存のペアリングの削除 54
AXIS Body Worn Assistantを装着式カメラに接続します。 54
AXIS Body Worn Assistantユーザーガイド 55
カテゴリーと注記 55
AXIS Body Worn TV Dashboard 56
トラブルシューティング 57
技術的な問題、ヒント、解決策 57
一般的なトラブルシューティングの手順 63
さらに支援が必要ですか? 63
サポートに問い合わせる 63
Axisとのデータの共有 63

これはAxis装着式ソリューションです。



1 装着式ソリューション
2 装着式システム
3 コンテンツ送信先
4 AXIS Body Worn Assistant
5 AXIS Body Worn Live
6 装着式カメラ
7 ドッキングステーション
8 システムコントローラー
9 ネットワーク
10 AXIS Body Worn Manager
11 RFIDリーダー
12 AXIS Body Worn Manager Pro
13 AXIS Body Worn TV Dashboard

Axis装着式ソリューション (1) - は、コンテンツ送信先 (3) に接続された1台以上のAxis装着式システム (2) です。この装着式システムは、コンテンツ送信先に接続されているときにのみ機能します。

Axis装着式システム (2) - は、Axis装着式カメラ (6)、Axisドッキングステーション (7)、Axisシステムコントローラー (8)、AXIS Body Worn Manager (10) で構成されます。

AXIS Body Worn Manager (10) - は、装着式システムを設定して管理できるWebアプリケーションです。

AXIS Body Worn Manager Pro (12) - は、複数の装着式システムの一元管理が可能なアプリケーションです。詳細については、「*AXIS Body Worn Manager Pro 製品*ページ」を参照してください。

AXIS Body Worn Assistant (4) - は、装着式カメラに直接接続されたモバイル装置のためのアプリケーションで、録画したビデオを見ることなどができます。詳細については、を参照してください。

AXIS Body Worn Live (5) - は、装着式カメラのユーザーがWi-Fi®またはモバイルネットワークを使用してライブビデオをストリーミングするソリューションです。詳細については、*AXIS Body Worn Live製品*ページを参照してください。システムのクラウド版にアクセスするには、こちらをクリックしてください。

オプションのRFIDリーダー (11) - は、システムコントローラーに接続できません。このオプションを使用すると、カメラのユーザーは自己割り当てタグを使用して、利用可能な任意の装着式カメラの自己割り当てを行うことができます。

カメラをドッキングステーションに設置すると、ドッキングステーションはカメラのバッテリーを充電し、カメラをシステムに接続します。その後、システムコントローラーは、カメラから選択したコンテンツの保存先まですべてのデータをシームレスに転送します。また、最新の装置ソフトウェアと設定を使用してカメラを最新状態に維持し、Axis装着式ソリューションの健全性を監視します。

このシステムは、証拠管理システム (EMS)、ビデオ管理システム (VMS)、メディアサーバーなど、さまざまなタイプのコンテンツ送信先によってサポートされています。Body Worn Integration APIを使用して、サードパーティのVMSまたはEMSと統合することができます。*axis.com/developer-community/body-worn-integration*でAxis開発者コミュニティに参加して、Body Worn Integration API文書を参照してください。

最新のリリースの新機能

カメラタグ

カメラにカスタムタグを割り当てて、特定のカメラを簡単に除外できるようになりました。カメラ1台につき複数のタグを使用できます。

転倒検知でライブストリーミングをトリガー

転倒検知を録画のトリガーとしてだけでなく、AXIS Body Worn Liveへのライブストリーミングのトリガーとしても使用できるようになりました。

AXIS Body Worn Liveのエンドツーエンド暗号化設定の簡素化

AXIS Body Worn Liveでエンドツーエンド暗号化を有効にするプロセスが簡素化されました。
AXIS Body Worn Managerでリンクを開いたり共有したりするだけで、AXIS Body Worn Liveウェブアプリケーションでエンドツーエンド暗号鍵が自動設定され、インストールされるようになりました。

使用に当たって

装着式システムをセットアップするには、次の手順に従う必要があります。

1.
2.
3. コンテンツ送信先に接続します。を参照してください。
4.
5.
6. .
7.

Axis装着式ソリューションを開始する

システムの設置

注

このようなハードウェアコンポーネントが必要な場合、装着式システムをインストールします。

- システムコントローラー
- ドッキングステーション
- 装着式カメラ
- コンピューター
- ネットワークケーブル
- 自己割り当てによるカメラの割り当てで使用するオプションのRFIDリーダー。

1. システムコントローラーをお使いのネットワークに接続します。
2. ドッキングステーションをシステムコントローラーの **[Docking stations (ドッキングステーション)]** ポートに接続します。ドッキングステーションの設置：
   - 横向き
   - 通気性と空気循環の良い場所
   - 直射日光が当たらない場所
3. 必要に応じて、RFIDリーダーをシステムコントローラーのUSBコネクターに接続します。
4. システムコントローラーと同じネットワークにコンピューターを接続します。
5. 装置の電源を入れます。
6. カメラをドッキングします。
7. に進みます。

初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする

注

- 始める前に、以下のものがあることを確認してください。

- 最新の装置ソフトウェアバージョンを入手可能です。*axis.com*からダウンロードすることができます。装置ソフトウェアにアクセスするには、My Axisアカウントが必要です。
- 利用可能なコンテンツ送信先の接続ファイル。を参照してください。

1. お使いのネットワークのシステムコントローラーを検索します。
   1.1. *axis.com/support/software*に移動し、AXIS IP Utilityをダウンロードします。
   1.2. AXIS IP Utilityを起動します。
   1.3. シリアル番号を使用して、リスト内でシステムコントローラーを見つけます。シリアル番号は、システムコントローラーの底部、またはシステムコントローラーボックスのラベルに記載されています。
   1.4. 検索結果リストからシステムコントローラーにアクセスします。ブラウザーでAXIS Body Worn Managerが開きます。
2. 設定アシスタントに従って設定します。
   2.1. 新しいシステムを設定する場合は、[**Create a new system (新しいシステムの作成)**] を選択します。
   既存のシステムにシステムコントローラーを追加する場合は、[**Extend an existing system (既存のシステムを拡張する)**] を選択し、「」の手順に従います。
   2.2. 通常のシステムを設定する場合は、[**Standard (標準)**] モードを選択します。ソリューションを試す場合は、[**Evaluation (評価)**] モードを選択します。評価モードの詳細については、を参照してください。
   2.3. 管理者アカウントを作成します。管理者ユーザー名は`root`です。
   2.4. 最新の装置ソフトウェアバージョンをインストールします。*axis.com* から装置ソフトウェアをダウンロードすることができます。装着式システムのさまざまなAXIS OSトラックがサポートされています。これにより、**[Active track (アクティブトラック)]** の最新機能をすべて利用する場合も、**[Long-term support (LTS) track (長期サポート (LTS) トラック)]** の安定性を優先する場合も、システムに最適なトラックを選択することができます。詳細については、を参照してください。
   2.5. 装着式システムに名前を付けます。これにより、コンテンツ送信先や異なるクラウドサービス内での識別が容易になり、重要なシステムイベントに関する電子メール通知を受け取る際にも簡単に識別できます。システム名は [**Settings (設定)**] で変更できます。
   2.6. ネットワークを設定します。
   2.7. 接続ファイルを使用してシステムをコンテンツ送信先に接続します。コンテンツの保存先には、録画とメタデータが保存され、管理されています。装着式システムは、接続されるとコンテンツの保存先にロックされます。コンテンツの保存先を変更するには、まず装着式システムをリセットする必要があります。詳細については、を参照してください。
   2.8. **スーパーアドミンパスフレーズ**は、装着式システムのセキュリティを強化します。システムの復元など、システムの重要な操作には、スーパーアドミンパスフレーズによる認証が必要です。これは、装着式システムとセーフモード中のカメラの間の接続を再確立するときにも必要です。パスフレーズを変更することはできません。
   2.9. **システム復元キー**は重要なセキュリティ機能です。装着式システムでは、特定の操作のためにシステム復元キーが必要です。これらの操作には、故障したシステムコントローラーの交換後に、装着式システムと既存のカメラ間の接続を再確立することなどが含まれます。**システム復元キー**をコンピューターにダウンロードし、安全な場所に保存します。
   2.10. お客様の地域で使用されている電源周波数を選択します。正しい周波数が使用されていると、画像のちらつきが少なくなります。アメリカ地域では、通常60 Hzが使用されています。世界の他の部分では、ほとんどの場合50 Hzで使用されています。お客様の地域の電源周波数がわからない場合は、地方自治体に確認してください。
   2.11. カメラは2つの方法でユーザーに割り当てることができます。[**Fixed (固定)**] カメラの割り当ての場合、各ユーザーは1台の特定のカメラに手動で割り当てられます。

[Self-assign (自己割り当て)] の場合、カメラユーザーはシステムに接続されたRFIDリーダーの自己割り当てタグをタップして、利用可能な任意のカメラを選択します。システムをリセットせずに**固定**と**自己割り当て**を切り替えることはできません。[Self-assign (自己割り当て)] では、システムでユーザーをローカルにまたはグローバルにカメラに割り当てることができます。この設定を完了すると、[Settings (設定)] でこのオプションを使用できます。詳細については、を参照してください。

3. 正しい日付と時刻を設定します。時刻を正しく設定することは、いくつかの理由から重要です。を参照してください。

安全なパスワード

重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用できるようにするためパスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことが強く推奨されています。

- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

評価モード

重要

評価モードのシステムを標準モードに変更することはできません。

装着式ソリューションを試したい場合は、システムを評価モードで設定することができます。標準モードと同様に、カメラ、システムコントローラー、コンテンツ送信先間の通信は、すべて暗号化されます。評価モードでは、以下の操作を行えます。

- システム内にカメラや拡張システムコントローラーが残っている場合や、コンテンツ送信先に転送されていない録画がある場合でも、システムを簡単にリセットできます。
  システム内にドッキングされていないカメラがある場合、システムをリセットしようとすると警告が表示されます。ドッキングされていないカメラは、システムをリセットしてもリセットされず、個別にリセットする必要があります。
- カメラはドッキングされているかどうかに関わらず、いつでもリセットすることができます。転送されていない録画は削除されます。リセットしたカメラをシステムに再度追加する場合は、まずそのカメラを強制的に削除します。を参照してください。
- AXIS Body Worn Managerには、ユーザー名 (demo) とパスワード (demo) が事前に設定されたデモアカウントがあります。デモアカウントを削除することはできません。デモアカウントでは、管理者アカウントのパスワードを紛失した場合でもシステムにログインできます。システムのバックアップと復元、ハードウェアの削除、コンテンツ送信先に転送できなかった録画の取り出しなどが可能です。

AXIS W100またはAXIS W101 Body Worn Cameraをリセットするには：

1. 機能ボタンと録画ボタンを同時に2回押して、カメラが評価モードになっていることを確認します。
   カメラが評価モードになっている場合、すべてのLEDがオレンジ色に点滅します。
2. 7秒以内に録画ボタンを2回押してカメラをリセットします。

AXIS W102、AXIS W120、またはAXIS W110 Body Worn Cameraをリセットするには：

1. 電源ボタンを2回押して、カメラが評価モードになっていることを確認します。
   カメラが評価モードになっている場合、AXIS W102とAXIS W120のディスプレイには、`Evaluation mode`というテキストが表示されます。AXIS W110では、すべてのLEDがオレンジ色に点滅します。

2. 7秒以内に再度電源ボタンを2回押してカメラをリセットします。

コンテンツ送信先

コンテンツ送信先は、録画とメタデータを保存および管理します。たとえば、送信先はEMS (証拠管理システム)、VMS (ビデオ管理システム)、メディアサーバーなどになります。Axis装着式ソリューションは複数の異なるコンテンツの保存先をサポートします。

すべてのコンテンツ送信先には、Axis装着式システムと統合するための接続ファイルが必要です。接続ファイルは、コンテンツの保存先に生成されます。接続ファイルを生成する方法については、コンテンツ送信先のユーザーヘルプを確認してください。

コンテンツ送信先との接続にも、ネットワーク通信が正しく動作している必要があります。たとえば、プロキシ、ファイアウォール、ウイルス対策が適切に設定されている必要があります。

重要

装着式システムの時刻とタイムゾーンは、コンテンツ送信先の時刻とタイムゾーンと常に一致している必要があります。を参照してください。

AXIS Camera Station Proに接続する

AXIS Camera Station ProをAxis装着式システムに組み合わせる方法については、*AXIS Camera Station Pro インテグレーターガイド*を参照してください。

AXIS Camera Station 5に接続する

AXIS Camera Station 5をAxis装着式システムに組み合わせる方法については、*AXIS Camera Station 5 インテグレーターガイド*を参照してください。

AXIS Case Insightに接続する

AXIS Case InsightをAxis装着式システムに組み合わせる方法については、*AXIS Case Insight System Integrator Guide*を参照してください。

サードパーティ製アプリケーションとの統合す

Genetec Security Centerとの統合方法については、*Body worn integration Genetec*をご覧ください。また、Milestone XProtect®との統合方法については、*AXIS Optimizer Body Worn Extension*をご覧ください。

注

- ボディが保存、削除、変更されたときや、カメラの名前を変更したときなど、装着式システムは、コンテンツの送信先に変更をプッシュします。このタイプの通信は1つの方法です。そのため、コンテンツの宛先が、対応する変更内容を装着式システムにプッシュすることはありません。
- 装着式システムを使用するには、事前にコンテンツの保存先に接続する必要があります。
- 接続ファイルは、コンテンツ送信先に接続されてからご使用のコンピューターから削除することをお勧めします。
- 装着式システムは、接続されるとコンテンツの保存先にロックされます。コンテンツの保存先を変更するには、まず装着式システムをリセットする必要があります。
- 装着式システムをリセットする前に、コンテンツの保存先を絶対に削除またはリセットしないでください。必ず装着式システムを最初にリセットしてください。最初にコンテンツの保存先を削除またはリセットすると、録画がカメラまたはシステムコントローラーに残り、装着式システムをリセットできなくなります。これは、すべての証拠がコンテンツの保存先にアップロードされるようにするセキュリティ機能です。

AXIS Case Insightで録画をユーザーに関連付け

AXIS Case Insightに転送された録画は、ユーザーに関連付けられます。AXIS Case Insightユーザーは、カメラを装着している人 (カメラユーザー) に対応しています。関連付けにより、ケース作成時などに、特定の人が行った録画を検索して収集することが容易になります。

AXIS Case Insightで録画をユーザーに関連付ける方法については、を参照してください。

カメラを追加する

1. システムに追加するカメラをドッキングします。カメラのLEDがオレンジ色で点滅します。
2. [Cameras (カメラ)] に移動します。
3. [カメラ] リストで、[New (新規)] をクリックします。
4. [Add cameras (カメラを追加)] リストで、追加するカメラを選択し、[Add (追加)] をクリックします。
   カメラが追加されると、カメラの状態が [Adding (追加中)] から [Docked (ドッキング済み)] または [Charging (充電中)] に変わります。これには数分かかることがあります。

ユーザーの追加

システム内のカメラユーザーは、録画と装着式カメラを使用している人の間のリンクです。カメラユーザーを追加するには、システムで直接作成するか、ファイルからインポートします。

-
-

新しいユーザーを作成します。

1. [Users (ユーザー)] に移動します。
2. をクリックして、新規ユーザーを追加します。
3. 次のユーザー情報を入力します。
   3.1. ユーザーの名前 (オーバーレイに表示できます)。
   3.2. 組織内でのユーザー固有のID (オーバーレイに表示できます)。
   3.3. 必要に応じて、AXIS Case Insightユーザー名を入力します。

   注
   - このオプションは、AXIS Case Insightを使用している場合にのみ表示されます。
   - ユーザーの電子メールアドレスをユーザー名として入力すると、対応するゲストユーザーがAXIS Case Insight内に作成されます。このゲストユーザーは、システムに記録された証拠にアクセスできません。ユーザーのアクセス権は、AXIS Case Insightで管理されます。
   - 既存のユーザーのユーザー名を変更することはできません。これを行うには、ユーザーを削除して再度追加する必要があります。

   3.4. [Camera profile (カメラプロファイル)] を選択します。
4. [Add user (ユーザーの追加)] をクリックします。

ユーザーのインポート

装着式システムにより、カメラユーザーのデータをCSV UTF-8 (カンマ区切り) ファイルからインポートすることができます。これは、新しいユーザーを追加したり、ユーザーIDを使用して既存のカメラユーザーのユーザー名とカメラプロファイルを更新したりするための最も効率的な方法です。

	A	B	C	D	E	F
1	#ID (required)(max 30 characters)	Name (required)(max 60 characters	Policy	Email	RFID number	
2	123	Officer_James	Default		1D1AC750	
3	567	Officer Paul	Default		FDA3C650	
4	987	Officer Smith	Default		3DFDC650	
5						
6						

CSVファイルの例

ユーザーごとにRFIDを含めることもできます。つまり、自己割り当てのカメラ割り当てを使用している場合に、自己割り当てタグを個別にペアリングするのではなく、一度にすべてのユーザーにRFIDタグを関連付けることができます。

インポートする前に、すでに更新するユーザーがシステムに存在する場合は、を参照してください。

カメラユーザーをインポートするには:

1. [Users (ユーザー)] に移動します。
2. コンテキストメニュー を開き、[Import users (ユーザーのインポート)] をクリックします。
3. ユーザー、ユーザーID、RFIDの正しい形式を示す [CSV template (CSVテンプレート)] をダウンロードします。
4. CSVファイルにユーザーとユーザーIDを入力します。
5. [Select CSV file (CSVファイルの選択)] をクリックし、作成したファイルを選択します。
6. ステータス ウィンドウに表示されている競合をすべて解決し、[インポート] をクリック します。

カメラへのユーザーの割り当て

注

- ユーザーが割り当てられていない場合、カメラは機能しません。ドッキングを解除すると、カメラのLEDが赤く点滅します。これは、使用前にユーザーをカメラに割り当てる必要があることを示しています。
- ユーザーを割り当てることができるのは、ユーザーのカメラプロファイル内のすべての機能をサポートしているカメラのみです。

カメラへのユーザーの割り当てには次の2つの方法があります。

-
-

固定カメラの割り当て

装着式システムの管理者がカメラユーザーを1台の特定のカメラに割り当てます。そのカメラユーザーは常に同じ装着式カメラを使用します。を参照してください

特定のカメラへのユーザーの割り当て

注

システム設定ウィザードで、固定カメラ割り当てが選択されています。自己カメラ割り当てに変更するには、システムをリセットする必要があります。

1. [Cameras (カメラ)] に移動します。
2. ユーザーを割り当てるカメラを開きます。
3. [Assigned user (割り当てられたユーザー)] リストで、ユーザーを選択します。

自己割り当てによるカメラの割り当て

注

自己割り当てに使用できるのは、少なくとも60%のバッテリー残量と60%のストレージ残量を持つカメラのみです。

カメラユーザーがシステムに接続されたRFIDリーダーの自己割り当てタグをタップします。そうすると、システムによって、ユーザーが使用可能なカメラに割り当てられます。割り当てられたカメラのLEDが緑色に点滅します。これは、ユーザーがカメラをドッキング解除できることを示すものです。

装着式システムの場合、ハードウェアの設置場所が異なる場合や、システム全体が同じ部屋にある場合もあります。装着システムで利用可能な任意のカメラをグローバルに自己割り当てするか、カードリーダーと同じ位置にあるカメラをローカルに自己割り当てするかを選択できます:

グローバル自己割り当て - ユーザーがRFIDタグにより、使用可能なカメラを自己割り当てします。すべてのカメラとシステムコントローラーが同じ部屋にある場合は、グローバル自己割り当てを使用します。

ローカル自己割り当て - ユーザーがRFIDタグにより、カードリーダーのあるカメラを自己割り当てします。ローカル自己割り当て機能を使用すると、ユーザーはシステム内の任意の場所にカメラを接続できます。カメラとシステムコントローラーが異なる場所に拡散している場合は、ローカル自己割り当てを使用します。

自己割り当てによるカメラの割り当ての設定については、を参照してください。

自己割り当てによるカメラの割り当てを設定する

自己割り当てによるカメラの割り当てを設定する

注

- システム設定ウィザードで、自己割り当てによるカメラの割り当てが選択されています。固定カメラの割り当てに変更するには、システムをリセットする必要があります。
- この設定には、RFIDリーダーExternal RFID Card Reader 125kHz + 13.56MHz with NFC (USB) が必要です。このリーダーには2つのモデルがあります。モデル名は製品ラベルに印刷されています。
  - TWN4 Multitechは、すべての装置ソフトウェアバージョンでサポートされています。
  - TWN4 Multitech 2 LF HFには、装置ソフトウェアバージョン10.12以降が必要です。
- 特別な自己割り当てタグを使用している場合は、RFIDリーダーを設定して対応させることができます。手順については、*このドキュメント*を参照してください。

自己割り当てによるカメラの割り当てを設定するには:

1. RFIDリーダーをシステムコントローラーに接続します。リーダーのLEDが緑色に点灯するのを待ちます (約15秒かかります)。これで、リーダーの装置ソフトウェアが正しくなり、使用できるようになりました。
2. 各RFIDタグを個別にペアリングするには、次の手順に進みます。
   または、既存のRFIDをすべてのユーザーに一度に関連付ける方法については、を参照してください。

3. RFIDリーダーの接続をシステムコントローラーから外します。
4. AXIS Body Worn Managerへのアクセスに使用するコンピューターに同じRFIDリーダーを接続します。

注
リモートデスクトップソリューションによる設定はサポートされていません。RFIDリーダーは、AXIS Body Worn Managerへのアクセスに使用するコンピューターに直接接続する必要があります。

5. AXIS Body Worn Managerで、[Users (ユーザー)] に移動します。
6. 自己割り当てタグとペアリングするユーザーを選択します。
7. をクリックして、新しい機器をペアリングします。
8. [Pair (ペアリング)] (自己割り当てタグ) をクリックします。
9. RFIDリーダーの自己割り当てタグをタップして登録します。ユーザーインターフェースのすべてのドットが黄色になるまでタップし続けます。

注
複数のペアリングを行う場合は、手順6～9を繰り返します。

10. RFIDリーダーの接続をコンピューターから外します。
11. 同じRFIDリーダーをシステムコントローラーに接続します。

これで、カメラユーザーはタグを使用して、装着式カメラの自己割り当てを行えるようになります。

カメラプロファイル

カメラプロファイルを使用して、1つのユーザーグループに同じカメラ設定を適用します。たとえば、昼と夜のシフトに異なるプロファイルを作成できます。新しいユーザーには、デフォルトのカメラプロファイルが割り当てられます。

カメラプロファイルの編集

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)] に移動し、設定済みのカメラプロファイルの1つをドロップダウンメニューから選択します。
2. をクリックして、選択したカメラプロファイルを編集します。
3. カメラプロファイルの [Name (名前)] を編集します。
4. カメラプロファイルのDescription (説明)を入力します。
5. このカメラプロファイルを持つユーザーのカメラ割り当てに利用できるようにするカメラを選択します。
6. [完了] をクリックします。
7. リスト内の装置を展開して設定を編集します。各設定の詳細については、を参照してください。

カメラプロファイルの設定

AXIS Body Worn Cameras

このセクションで説明する機能と設定のサポートは、カメラモデルによって異なります。このアイコン は、機能または設定が一部のカメラモデルでのみ使用できることを示しています。

ビデオ	録画画質	• 720P • 720p 高 • 1080p。AXIS W100およびAXIS W101の場合、プリバッファは最大90秒に制限されます。 • 1080p高。AXIS W100およびAXIS W101の場合、プリバッファは最大60秒に制限されます。 high (高)設定では圧縮率が低く、シャープネスが向上し、ビットレートがより高くなります。これらの設定は、インシデントベースの録画に適しています。
	ライブストリーム画質	• 320P • 720P
	電子動体ブレ補正	揺れや振動による影響を最小限に抑え、より滑らかで安定した画像を提供します。
	たる型歪曲の補正	バレル歪曲 (たる型歪曲) とは、映像が外側に向かって曲がったように見えるレンズ効果のことです。[Barrel distortion correction (たる型歪曲の補正)] をオンにすると、よりまっすぐな画像が得られます。
音声	録画の音声を含みます。	
	最適化	• デフォルト - 増幅された音声。ほとんどの環境に適しています。 • Post-processing (ポストプロセス) - 未処理 (自動ゲインコントロールまたはノイズ低減なし) のステレオ音声。独自の信号処理アルゴリズムをオフラインで適用する場合、または単方向で最適化されていない音声が必要な場合のポストプロセスアプリケーションに適しています。デフォルトの最適化に比べて、音声レベルが大幅に低くなります。

		• Voice (声) - 単調な環境音をフィルタリングして、録画内の声を分離します。
Standby mode (スタンバイモード)	録画していないときはカメラを省電力モードにします。 動作時間が延びます。 プリバッファとの併用はできません。	
プリバッファ	プリバッファにより、録画開始前に録画時間を追加してイベント全体を確実にキャプチャーできます。	
	長さ	プリバッファの長さ：15秒、30秒、60秒、90秒、または120秒。AXIS W100およびAXIS W101の場合、オプションの120秒は720pの画質でのみ使用できます。
	音声	プリバッファの音声を含みます。
ポストバッファ	カメラユーザーが録画を停止した後、録画を続行します。それでも、カメラには録画が停止したことが表示されます。 [Audio (音声)] で音声をオンにすると、音声がポストバッファに含まれます。	
	長さ	ポストバッファの長さ：10秒、30秒、または60 秒。
場所 アシストGNSS (エフェメリス) が有効	カメラの地理的位置情報を座標として保存します。 屋内では、屋外よりも精度が低くなります。 動作時間が短くなります。	
	モード	• Start and end (開始と終了) - 録画の開始および終了時のカメラの地理的位置情報を記録します。 • Track (追跡) - 録画全体でカメラの地理的位置情報を継続的に記録します。追跡モードは、コンテンツ送信先でサポートされている場合にのみ利用できます。
オーバーレイ	オーバーレイは、ビデオストリームに重ねて表示されます。これらは、録画で追加情報を提供するために使用されます。	
	ユーザー名	カメラユーザーの作成時に入力した名前を表示します。
	ユーザーID	カメラユーザーの作成時に入力したユーザーIDを表示します。

	位置	カメラの現在の地理的位置情報を座標として表示します。[Location (位置情報)] がオンになっている必要があります。
作動	録画ボタン	• Single press (1回押す) - ユーザーがボタンを1回押すと録画を開始します。 • Double press (2回押す) - ユーザーがボタンを2回押すと録画を開始します。この設定は、AXIS TW1201 Mini Cube Sensorがカメラに接続されている場合にも適用されます。
	常時録画	カメラユーザーがカメラをドッキング解除すると録画を開始し、再度ドッキングするまで録画を続けます。カメラユーザーは、録画ボタンを使用して録画を停止することはできません。ユーザーがカメラの電源をオフにすると、録画は停止します。カメラの電源をオンにすると、録画が自動的に開始されます。録画ボタンは、ブックマークの作成やライブストリームの停止に使用できます。
	転倒検知で録画	カメラが転倒を検知すると、録画が開始します。
	転倒検知でライブストリーム	カメラが転倒を検知すると、ライブストリームが開始します。[AXIS Body Worn Live] で [Record on fall detection (転倒検知で録画)] と [Streaming (ストリーミング)] がオンになっている必要があります。
	Broadcast wireless signal (ワイヤレス信号をブロードキャストする)	このカメラが録画を開始すると、近くにある他のカメラも録画を開始します。他のカメラで [Receive wireless broadcast (ワイヤレスブロードキャストの受信)] をオンにしている必要があります。
	信号強度	ワイヤレスブロードキャスト信号の到達距離を調整します。記載されている距離は、障害物のない屋外のオープンスペースに適用されます。

		• 高:最大100メートル (328フィート) • 中間:最大75メートル (246フィート) • 低:最大35メートル (115フィート)
	ワイヤレスブロードキャスト受信で録画	近くのカメラから録画信号がブロードキャストされると、このカメラが録画を開始します。
フィードバック	フロント録画インジケーター	カメラが録画中のインジケーターの状態: • ありません • 点灯 • 点滅 AXIS TW1201 Mini Cube Sensorを接続した場合、インジケーターの動作はミニキューブセンサーの前面の録画インジケーターに適用されます。
	アラート	カメラからのフィードバック: • 振動 • サウンド • 音と振動 • 声 • Voice and vibration (声と振動)
	Low battery warning (バッテリー残量低下の警告)	バッテリー残量が0.5時間未満になると、カメラはフィードバックを返します。 • Once (1回):カメラは1回ビープ音が鳴り、カメラが振動します。 • Periodic (定期的):カメラは2分ごとに1回ビープ音が鳴り、カメラが振動します。 • Periodic reinforced (定期的に強まる):カメラは1分ごとに3回ビープ音が鳴り、振動します。
	録画オン時の定期的なリマインダー	録画中、カメラは一定の間隔で振動します。これは、リマインダーとしてだけでなく、カメラが録画中であることの確認としても機能します。こ

		れは主に、インシデントベースの録画に適しています。定期的なリマインダーの間隔を選択します。
	Periodic reminder when recording is off (録画オフ時の定期的なリマインダー)	録画がオフになっていると、カメラは定期的に振動してビープ音が鳴ります。これは特に、連続録画する場合に適しています。休憩後などに再び録画を開始するようユーザーに促すことができるためです。定期的なリマインダーの間隔を選択します。[Escalating (エスカレート)] をオンにすると、アラームの頻度が徐々に増加します。
カメラ機能へのアクセス	サイレントモードを有効にする	これにより、カメラユーザーはディスプレイ、前面の録画インジケーター、アラートをオフにすることができます。
	マイクのミュートを許可する	これにより、カメラのユーザーは音声録画をオフにすることができます。
AXIS TW1201 Mini Cube Sensor	Disable main camera recording button (メインカメラの録画ボタンを無効にする)	ミニキューブセンサーが接続されている場合、メインの装着式カメラの録画ボタン (録画の開始と停止に使用) を無効にします。ミニキューブセンサーの録画ボタンのみを使用する場合は、このオプションを選択します。
	画像を180度回転	映像を回転できることで、ミニキューブセンサーの取り付けの柔軟性が向上します。

AXIS Body Worn Assistant

録画へのアクセスを許可する	AXIS Body Worn Assistantでカメラユーザーが録画を表示できるかどうかを選択します。
ワイヤレスネットワークの変更を許可する	AXIS Body Worn Assistantでカメラユーザーがワイヤレスネットワークを変更できるかどうかを選択します。ユーザーがAXIS Body Worn Assistantでネットワークを変更すると、AXIS Body Worn Managerでも変更されます。

ワイヤレス接続

Wi-Fiネットワーク	AXIS Body Worn Liveへのビデオと音声のストリーミングに使用するWi-Fiネットワークを割り当てます。

AXIS Body Worn Live

装着式システムをAXIS Body Worn Liveに接続した場合のみ表示されます。

ストリーミング	カメラユーザーにAXIS Body Worn Liveへのストリーミングを許可するかどうかを選択します。詳細については、AXIS Body Worn Live Cloudユーザーマニュアルの*ライブストリームを有効にする*を参照してください。

システムの設定

AXIS Body Worn Managerを開きます

1. ブラウザーを開き、システムコントローラーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。IPアドレスが不明な場合は、を参照してください 。
2. ユーザー名と管理者パスワードを入力します。ブラウザーでAXIS Body Worn Managerが開きます。

注
デフォルトの管理者アカウントのユーザー名は`root`です。

システムの拡張

システムコントローラーを追加することにより、システムを拡張することができます。システムコントローラーを追加すると、最大1000台のカメラをシステムに追加できるようになります。拡張システムコントローラーは、既存のシステムのインスタンスになります。すべての設定は、システムから拡張システムコントローラーに継承されます。拡張システムコントローラーに追加されたユーザーとカメラは、AXIS Body Worn Managerを通して管理されます。

1. 新しいシステムコントローラーを既存のボディの磨耗したシステムと同じネットワークに接続します。
2. 新しいシステムコントローラーにアクセスします。を参照してください。
3. [Extend an existing system (既存のシステムを拡張する)] を選択します。
4. 管理者パスワードを作成し、[Okay (OK)] をクリックします。
5. 最初に装着式システムコントローラーのIPアドレスを入力し、[Connect (接続)] をクリックします。

注
拡張システムコントローラーの装置ソフトウェアバージョンが既存のシステムよりも新しい場合は、既存のシステムをアップグレードするか、拡張システムコントローラーをダウングレードするように求められます。

6. 新しいシステムコントローラーを装着式システムに追加します。を参照してください。

注
- 分散システムでは安定したネットワーク接続が必要です。接続が悪いと、たとえば、ユーザーがカメラを自己割り当てできないことがあります。
- 装着式システムは、1つのタイムゾーンをサポートします。録画の日付と時刻は、拡張システムコントローラーとカメラがある場所のタイムゾーンに関係なく同じです。

システムコントローラーを追加する

1. 新しいシステムコントローラーをインストールします。を参照してください。
2. [System controllers (システムコントローラー)] に移動します。
3. [システムコントローラー] リストで、[New (新規)] をクリックします。
4. [Add system controllers (システムコントローラーの追加)] リストで、追加するシステムコントローラーを選択し、[Add (追加)] をクリックします。

新しいシステムコントローラーにアクセスするには:

1. [System controllers (システムコントローラー)] に移動します。
2. アクセスする拡張システムコントローラーを開きます。
3. コンテキストメニュー ⋮ を開きます。

4. [Open] (開く) をクリックします。

システムバックアップを設定する

システムバックアップにより、すべての設定が拡張システムコントローラーに保存されます。まれな状況として、システムを最初に作成したシステムコントローラーが故障した場合でも、装着式システムをリストアすることができます。バックアップには、すべてのユーザー、カメラプロファイル、カメラの割り当て、およびシステム設定が含まれます。バックアップは24時間ごとに自動的に更新されます。システムバックアップは、複数のシステムコントローラーを備えたシステムで利用できます。

Axisの装着式システムのバックアップとリストア

システムバックアップを設定するには：

1. [Settings (設定)] > [System (システム)] > [System backup (システムバックアップ)] の順に移動します。
2. [Configure (設定)] をクリックします。
3. [System controller backup (システムコントローラーのバックアップ)] を選択します。
4. バックアップを保存する拡張システムコントローラーを選択します。
5. [保存] をクリックします。

スケジュールされたバックアップを待たなくても、いつでもシステムを手動でバックアップできます。これにより、すべてのデータと設定を必要に応じて保存できます。手動でバックアップを開始するには、[Settings (設定)] > [System (システム)] > [System backup (システムバックアップ)] の順に移動して、[Backup now (今すぐバックアップ)] をクリックします。

注

- バックアップには録画された証拠は含まれません。
- バックアップシステムコントローラーに物理的にラベルを付けることをお勧めします。これは、まれな状況としてシステムが最初に作成されたシステムコントローラーが故障した場合に、それを識別する方法になります。
- バックアップを行うには、複数のシステムコントローラーを備えた装着式システムが必要です。

システムを復元する場合は、を参照してください。

システムバックアップの同期に失敗した場合、システム通知を受け取ることができます。を参照してください。

ライブビデオをAXIS Body Worn Liveにストリーミングする

AXIS Body Worn Liveを使用すると、装着式カメラのユーザーはWi-Fi®またはモバイルネットワークを介してライブ映像と音声をストリーミングできます。次の2つのホスティングオプションがあります。

Axis-hosted – Axisクラウド上で運用される。*ユーザーマニュアル*

Self-hosted – ユーザーの環境で運用される。*ユーザーマニュアル*

録画を自動的に開始する

プリバッファと組み合わせて、自動録画を有効にすることで、カメラユーザーが手動で記録を開始しなくても、インシデント全体がキャプチャーされます。以下を使用して、録画を自動的に開始するようにカメラを設定できます。

-
-
-

転倒検知

カメラを装着している人が転倒すると、転倒検知をトリガーとしてカメラの録画とライブストリームを自動的に開始することができます。この機能は、プリバッファと組み合わせることで、手動で起動することなく、インシデント全体を確実にキャプチャーします。

転倒検出をオンにする：

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)] に移動します。
2. 編集するカメラのプロファイルを開きます。
3. [Activation (起動)] で [Record on fall detection (転倒検知で録画)] をオンにします。
4. 録画とライブストリーミングをオンにするには、[Live stream on fall detection (転倒検知でライブストリーム)] をオンにします。

アンホルスター検知

ホルスターセンサーは、アンホルスターを検出して、自動的にビデオ録画をトリガーします。この機能は、プリバッファと組み合わせることで、手動で起動することなく、インシデント全体を確実にキャプチャーします。この機能では、カメラユーザーと*Yardarm*ホルスターセンサーをペアリングする必要があります。

装着式カメラ用ホルスターセンサーの設定

アンホルスター検知を有効にするには、次の手順に従います。

1. ホルスターセンサーが電源から切断されていることを確認します。
2. [Users (ユーザー)] に移動し、ホルスター センサーをペアリングするユーザーを選択します。
3. をクリックして、新しい機器をペアリングします。
4. [Pair (ペアリング)] (ホルスターセンサー) をクリックします。
5. カメラをドッキングします (カメラの割り当て方法に応じて、以下のいずれかの操作を行います)。
   - **固定カメラの割り当て:** ホルスターセンサーとペアリングする装着式カメラユーザーに割り当てられたカメラをドッキングします。
   - **自己割り当てによるカメラの割り当て:** カメラがドッキングされているのを確認します。

6. ホルスターセンサーに記載されている6文字のシリアル番号を入力します。
7. カメラのドッキングを解除します (カメラの割り当て方法に応じて、以下のいずれかの操作を行います)。
   - **固定カメラの割り当て:** カメラのドッキングを解除し、カメラが起動するのを待ちます。ステータスLEDが緑色に点灯します。
   - **自己割り当てによるカメラの割り当て:** カメラを自己割り当てし、カメラのドッキングを解除してカメラの起動を待ちます。ステータスLEDが緑色に点灯します。
8. ホルスターセンサーに電源を接続します。
9. AXIS W120では、ホルスターセンサーのアイコンが白色に点灯してペアリングが開始されたことを示します。他のカメラモデルでは、Wi-Fi®接続LEDが黄色に点滅します。アイコンまたはLEDが緑色に点灯するまで待ちます。点灯はペアリングが成功したことを示します (最大20秒かかることがあります)。ペアリングに失敗すると、アイコンまたはLEDが赤色に点灯します。
10. ホルスターセンサーから電源を外します。
11. ホルスターセンサーを取り付け、ホルスターを外して、ペアリングが成功したことを確認します。カメラの録画LEDが赤色に点灯します。
12. カメラをドッキングします。

ペアリングが完了したら、**ペアリングされた機器**で、ホルスターセンサーのペアリング状況を確認してください。緑色の状態は、ペアリングが装着式システムに登録されていることを示しています。

カメラを日常的にホルスターセンサーに接続するには、カメラのドッキングを解除し、ドッキング解除後10分以内はカメラがホルスターセンサーの範囲内にあることを確認します。通常の状況で、範囲は5〜10 m (16〜33フィート) です。

ワイヤレスブロードキャスト

ワイヤレスブロードキャストにより、カメラは、同じ装着式システムに属する近くにある他のカメラで、録画をアクティブにすることができます。

1台のカメラが録画を開始すると、近くにある他のカメラにワイヤレス信号をブロードキャストします。ブロードキャストは10秒間続きます。ブロードキャストを受信したカメラも自動的に録画を開始します。

注

ワイヤレス信号を検知できるかどうかは、周囲の環境に大きく依存します。

1. **[Camera profiles (カメラプロファイル)]** に移動します。
2. 編集するカメラのプロファイルを開きます。
3. そのカメラから他のカメラに信号をブロードキャストするように設定するには、**[Broadcast wireless signal (ワイヤレス信号のブロードキャスト)]** をオンにします。
4. 信号の到達範囲を設定するには、**[Signal strength (信号強度)]** を調整します。
5. 他のカメラからブロードキャストされた信号を受信したときにカメラが録画を開始するように設定するには、**[Receive wireless broadcast (ワイヤレスブロードキャストの受信)]** をオンにします。

位置情報の記録

注

この機能をサポートするのは、一部のカメラモデルのみです。

カメラの地理的位置を録画できます。録画された位置情報データを使用すると、コンテンツの送信先がカメラの動きをトラックとして、またはマップ上の単一の位置として表示できます。その

後、この情報を使用して、インシデントが発生した場所を特定し、イベントの全過程を鮮明に確認できます。この機能には、次の2つのモードがあります。

開始と終了 - 録画が開始および終了する時間と場所でのカメラの地理的位置情報を記録します。

トラック - 録画全体でカメラの地理的位置情報を継続的に記録します (プリバッファを含む)。追跡モードは、コンテンツ送信先でサポートされている場合にのみ利用できます。

録画に地理的位置情報を含めるには:

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)] に移動します。
2. カメラプロファイルを選択します。
3. 録画に地理的位置情報を含めるカメラモデルを展開します。
4. [Location (位置情報)] をオンにします。
5. [Mode (モード)] を選択します。

注

- 屋外で使用する場合、位置情報では、衛星 (GNSS) を使用してカメラの位置を取得します。クラウド拡張機能をオンにすると、Assisted GNSS (ephemeris) により測位性能が向上し、最初の衛星フィックスを取得するまでの時間が短縮されます。
- コンテンツの送信先によっては、位置情報データの表示や使用方法が異なる場合があります。たとえば、録画の検索に使用したり、録画用のマップやブックマークに表示ができます。
- 位置情報は屋外専用です。屋内で使用する場合はオフにすることをお勧めします。
- 位置情報機能によってバッテリーの消費量が増加します。

録画の継続的に更新される位置情報をオーバーレイとしてビデオの含めることもできます。これをオンにするには、カメラプロファイルの [Overlay (オーバーレイ)] に移動し、[Position (位置)] をオンにします。

録画へのアクセスを制限する

[Allow access to recordings (録画へのアクセスを許可する)] 設定では、カメラユーザーがAXIS Body Worn Assistant内の録画を表示できるかどうかを指定できます。カメラプロファイルでオン/オフを切り取ることができます。録画へのアクセスをオフにするには:

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)] に移動します。
2. 編集するプロファイルを開きます。
3. [Allow access to recordings (録画へのアクセスを許可する)] をオフにします。

スタンバイモードでバッテリーを節約する

重要

プリバッファをスタンバイモードと組み合わせて使用することはできません。

録画していないとき、バッテリーを節約する目的でカメラをスタンバイモードに移行させることができます。設定手順は、次の通りです。

1. [Camera profiles (カメラプロファイル)] に移動します。
2. 編集するプロファイルを開きます。
3. [Standby mode (スタンバイモード)] をオンにします。

スタンバイモードを使用している時、録画ボタンを押してから録画が開始されるまでに約1秒かかります。

Axisロゴオーバーレイの表示／非表示

デフォルトでは、Axisのロゴが録画にオーバーレイとして含まれます。オーバーレイを非表示または表示するには、Settings (設定) > [Camera (カメラ)] > [Logo in video overlay (ビデオオーバーレイのロゴ)] に移動し、[Show Axis logo in video overlay (ビデオオーバーレイにAxisロゴを表示)] をオフまたはオンにします。

カメラへのタグ割り当て

カスタムタグを作成してカメラに割り当てることができます。タグを使用して、カメラの使用状況レポートでカメラをフィルターします。

カスタムタグを作成するには：

1. [Settings (設定)] > [Camera (カメラ)] > [Tags (タグ)] に移動します。
2. [Create (作成)] をクリックします。
3. タグの名前と説明を入力します。
4. [Create (作成)] をクリックします。

カメラにタグを割り当てるには：

1. [Cameras (カメラ)] に移動し、タグを割り当てるカメラをクリックします。
2. リストから1つ以上のタグを選択します。

クラウド拡張機能

装着式システムには、すぐに使用可能な標準機能がセットされています。クラウド拡張機能は、クラウドベースの追加機能のセットです。

使用可能なクラウド拡張機能は次のとおりです。

アシストGNSS (エフェメリス) - 場所データのパフォーマンスが向上し、最初の修正を取得するのにかかる時間を短縮できます。

Eメール通知 - この通知により、システムの健全性を監視する時間を短縮することができます。詳細については、を参照してください。

補助装置ソフトウェアのアップグレード - 最新の装置ソフトウェアバージョンを、コンピューターに手動でダウンロードせずに、インストールできます。また、インストール前に、直接AXIS Body Worn Managerにアップグレードで追加される新機能が表示されます。新しいバージョンが利用可能になったときに電子メール通知を受信するように選択できます。

注

- クラウド拡張機能を一度オンにすると、装着式システムをリセットしない限りオフにすることはできません。
- クラウド拡張機能をオンにするには、システムが以下の表にあるホスト名にアクセスできる必要があります。

クラウド拡張機能をオンにするには:

1. [Add-on services (アドオンサービス)] > [Cloud (クラウド)] に移動します。
2. [Turn on (オンにする)] をクリックします。
3. [Continue (続行)] をクリックして確定します。

以下は、クラウド拡張機能を設定して使用する際に、装着式システムがアクセスできる必要のあるホスト名です。

ドメイン	情報
*.bodyworn.axis.com	装着式システム固有のAPI。
*.bodyworn.axis.cloud	装着式システム固有のAPI。
*.axis.com	共通のAxis API。
axisbws-prod.azure-devices.net	装置とクラウド間のアプリケーション通信。

AXIS Body Worn Live Cloudに必要なホスト名のリストについては、*AXIS Body Worn Live Cloud ユーザーマニュアル*を参照してください。

システムの保護

署名付きビデオ

署名付きビデオでは、各ビデオ フレームに暗号化チェックサムが追加され、Axis装置IDで署名されます。これにより、ビデオを元のカメラまで遡って追跡できるため、ビデオファイルのCoC (管理の連鎖) を証明しなくても、カメラから転送された後の映像が改ざんされていないことを確認することができます。AXIS File Playerを使用してビデオファイルを確認できます (を参照)。

カメラが署名付きビデオに対応しているかどうかを確認するには、*axis.com*に移動してください。

署名付きビデオをオンにするには:

1. [Settings (設定)] > [Camera (カメラ)] > [Signed video (署名付きビデオ)] に移動します。
2. [Signed video (署名付きビデオ)] をオンにします。

注
この機能は、コンテンツ送信先でサポートされている場合に利用できます。

録画の信頼性を確認する

注
録画の信頼性を確認するには、ビデオの録画時に署名付きビデオがオンになっている必要があります。を参照してください。

1. 確認する録画をエクスポートします。
2. AXIS File Player (*クリックしてダウンロード*) を使用して録画を再生します。

   は、録画が不正に改変されていないかどうかを示します。

注
メタデータを表示するには、ビデオを右クリックして [Show digital signature (デジタル署名を表示)] を選択します。

証明書

証明書を使用して、ネットワークにあるデバイスを認証することができます。また、HTTPSを使用して、暗号化されたWebブラウジングを有効化することが可能です。HTTPSを使用して、装着式システムに安全に接続することをお勧めします。を参照してください。

装着式システムに安全に接続するには、以下のようにします。

1.
2. CA (認証局) を使用して、CSR (証明書署名要求) に署名します。
3.

証明書の署名要求を作成する

1. [Settings (設定)] > [Security(セキュリティ)] > [Certificates (証明書)] の順に移動します。
2. [追加] をクリックします。
3. [Create self-signed certificate (自己署名証明書の作成)] を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。
4. [Create self-signed certificate (自己署名証明書を作成する)] で、値を入力し、[Create (作成)] をクリックします。

5. 新しい証明書の横にあるコンテキストメニュー ⋮ を開きます。
6. [Create signing request (署名要求の作成)] をクリックします。
7. [Create certificate signing request (証明書署名要求の作成)] で、[Create (作成)] をクリックします。
8. [Signing request (署名要求)] ダイアログで、テキスト全体をコピーし、ファイル名が.csrのファイルに貼り付けます。

注

また、既存の [Default (self-signed) (デフォルト (自己署名))] 証明書に対する署名要求を作成することもでき ます。

証明書のインストール

注

インストールされた証明書は、アップロードされた .crtファイルから接尾辞を除いた名前を取得します。この名前は一意である必要があります。

1. [Settings (設定)] ⚙ > [Security(セキュリティ)] > [Certificates (証明書)] の順に移動します。
2. [追加] をクリックします。
3. [Upload a CA certificate (CA証明書をアップロード)] を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。
4. [Select file (ファイルの選択)] をクリックし、<filename>.crtというファイル名の署名された証明書を参照します。
5. [インストール] をクリックします。
6. 証明書の横にあるコンテキストメニュー ⋮ を開きます。
7. [Activate (有効化)] をクリックします。

802.1xの設定

1. 装着式システムを、802.1xを使用せずにネットワークに接続します。
2. [Settings (設定)] ⚙ > [Security (セキュリティ)] > [IEEE 802.1x] の順に移動します。
3. [Show certificate settings (証明書の設定の表示)] をクリックします。
4. ＋ をクリックして新規証明書を作成するか、既存の証明書をインストールします。
5. [802.1x] で、インストールした証明書を選択します。
6. EAP identity (EAP ID)を入力します。
7. [Use IEEE 802.1x (IEEE 802.1xを使用)] を選択します。
8. [保存] をクリックします。
9. ページに [Connecting… (接続中...)] と表示されます。
10. 802.1xを有効にしたネットワークに装着式システムを接続します。

HTTPSのみを許可

装着式システムに安全に接続するには、HTTPSのみを使用することをお勧めします。

1. [Settings (設定)] ⚙ > [Security (セキュリティ)] > [HTTP and HTTPS (HTTP と HTTPS)] の順に移動します。

2. [Allow access through (次によるアクセスを許可)] ドロップダウンメニューで、[HTTPS only (HTTPSのみ)] を選択します。
3. [Set (設定)] をクリックします。

ユーザーを管理する

ユーザを削除

1. [Users (ユーザー)] に移動します。
2. 削除するユーザーをクリックします。
3. コンテキストメニュー ⋮ を開きます。
4. **[削除]** をクリックします。

重要

コンテンツ送信先からカメラユーザーを削除しないでください。ユーザーの削除には、必ずAXIS Body Worn Managerを使用します。

ユーザーのエクスポート

すべてのカメラユーザーのデータをCSVファイルにエクスポートできます。これは、システムのリセットが必要な変更をシステムに加える必要があるが、すべてのユーザーデータを保持したい場合に便利です。システムをリセットし、すべての変更を行った後、ユーザーのデータを再びシステムにインポートするだけで済みます。を参照してください。

カメラユーザーをエクスポートする方法:

- [Users (ユーザー)] に移動します。
- コンテキストメニュー ⋮ を開きます。
- [Export users (ユーザーのエクスポート)] をクリックします。

システムの監視

ダッシュボード

[Dashboard (ダッシュボード)] には、装置とシステムの健全性の概要が表示されます。また、注意が必要な問題も強調表示します。何か問題がある場合は、このページから簡単にアクセスして問題を解決することができます。

装置は同時に複数の問題が発生する可能性があります。詳細を確認するには、アイコンの上にカーソルを移動します。

カメラアラート

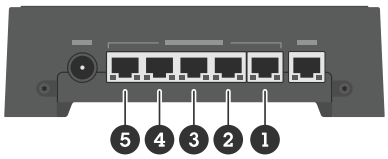
アラート	その意味	対処法
まもなく証明書の有効期限です	カメラがドッキングされていない場合、カメラの証明書は1週間以内に失効します。証明書の有効期限が切れたカメラは、次回ドッキングしたときにセーフモードになります。	カメラをドッキングします。
ドッキング済みですがバッテリーが空です	前回のセッションでバッテリー残量がなくなったため、カメラがシャットダウンしました。	カメラをクリックし、[Battery health (バッテリーの状態)] タブに移動します。バッテリーの状態を把握するために、過去30日間にカメラがシャットダウンした回数と、前回のセッションで使用された時間を確認します。 このアラートをオフにするには、[Settings (設定)] > [Camera (カメラ)] > [Display battery warning (バッテリー警告を表示)] の順に移動します。
ドッキングの問題	カメラがドッキングベイに正しく接続されていません。	以下のように対処してください。 1. カメラをドッキング解除した後、適切にドッキングします。アラートがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 2. カメラのコネクターとドッキングベイのポゴピンを清掃します。カメラのユーザーマニュアル (*help.axis.com*) の「クリーニング」を参照してください。カメラをドッキングしても警告が消えない場合は、以下の手順に進みます。

		3. 他のカメラでこのアラートが表示されない別のドッキングベイに、カメラをドッキングしてください。アラートが消えた場合は、元のドッキングベイが故障しているため、ドッキングステーションを交換する必要があります。アラートがまだ表示される場合は、カメラが故障しているため、カメラを交換する必要があります。
セーフモード中	カメラの証明書が有効でないため、セキュリティ上の理由でカメラがセーフモードになりました。	カメラとシステム間の接続を再確立するには、カメラをクリックし、画面上の手順に従います。を参照してください。
動作不良	カメラが故障しています。	カメラを交換してください。
充電できない	カメラをドッキングしても充電されません。	以下のように対処してください。 1. カメラをドッキング解除した後、適切にドッキングします。アラートがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 2. カメラのコネクターとドッキングベイのポゴピンを清掃します。カメラのユーザーマニュアル (*help.axis.com*) の「**クリーニング**」を参照してください。カメラをドッキングしても警告が消えない場合は、以下の手順に進みます。 3. 他のカメラでこのアラートが表示されない別のドッキングベイに、カメラをドッキングしてください。アラートが消えた場合は、元のドッキングベイが故障しているため、ドッキングステーションを交換する必要があります。アラートがまだ表示される場合は、カメラが故障しているため、カメラを交

		換する必要があります。
不明なカメラ	AXIS Body Worn Manager Proに接続されていないシステムの場合: カメラが別のシステムに属しています。 AXIS Body Worn Manager Proに接続されているシステムの場合: カメラがAXIS Body Worn Manager Proを介して管理されるシステムのグループ外のシステムに属しています。	このシステムでカメラの使用を開始するには、以下の手順に従ってください。 1. カメラを最初に追加したホームシステムにドッキングしてください。 2. ホームシステムからカメラを削除します。を参照してください。 3. ホームシステムからカメラのドッキングを解除し、新しいシステムにドッキングします。 4. 新しいシステムにカメラを追加します。を参照してください。
	AXIS Body Worn Manager Proに接続されているシステムの場合: カメラが別のシステムのゲストカメラで、AXIS Body Worn Manager Proで管理されています。カメラの証明書が無効です。	1. カメラを最初に追加したホームシステムにドッキングしてください。 2. ホームシステムでカメラをクリックし、画面上の手順に沿って操作します。を参照してください。

システムコントローラーのステータス

ステータス	その意味	対処法
録音を転送できません	コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と異なっています。	コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と同期していることを確認します。両方に同じNTPサーバーを使用することをお勧めします。
[コンテンツ送信先] への接続に失敗した	コンテンツ送信先にアクセスできません。	以下のように対処してください。 • コンテンツ送信先が起動され、実行中であることを確認します。 • コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。 • コンテンツ送信先のユーザーマニュアルで、どのポートを開く必要があるかを確認してください。それらのポートが開いている必要があります。

ポート [x] で ドッキングステーションの接続の問題があります  *ポート番号*	システムコントローラーとドッキングステーション間のリンク速度が遅くなっています。これにより、録画のオフロード時に問題が発生する可能性があります。	以下のように対処してください。 1. ドッキングステーションの電源を切り、再投入します。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 2. ドッキングステーションとシステムコントローラー間のネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 3. ドッキングステーションとシステムコントローラー間のネットワークケーブルを交換します。メッセージが消えた場合は、ケーブルに問題があるため、交換する必要があります。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 4. システムコントローラーの同じドッキングステーションポートに、正常に動作するドッキングステーションを接続します。メッセージが消えた場合は、元のドッキングステーションが故障しているため、交換する必要があります。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 5. システムコントローラーを再起動します。メッセージがまだ表示される場合は、システムコントローラーが故障しているため、交換する必要があります。
動作不良	システムコントローラーが故障しています。	以下のように対処してください。 • システムコントローラーを再起動します。

		メッセージがまだ表示される場合は、システムコントローラーを交換してください。
録画転送の問題	録画をコンテンツ送信先に転送しようとすると、問題が発生します。	1. 以下のように対処してください。 – コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。 – コンテンツ送信先に十分なライセンスがあることを確認します。 – コンテンツ送信先にすべての装着式カメラユーザーが含まれているかを確認します。 – コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と同期していることを確認します。 2. 上記のいずれかの問題に対処した後、**[System controllers (システムコントローラー)]** に移動して、[シスSystem controllers (システムコントローラー)] > **[Retry transfer (転送の再試行)]** の順にクリックします。システムコントローラーを再起動しないでください。 メッセージが引き続き表示される場合は、録画をダウンロードしてください。を参照してください。
録画を転送できませんでした	録画をコンテンツ送信先に転送できませんでした。	録画をダウンロードします。を参照してください。
ストレージがほぼいっぱい	ストレージがほぼいっぱいです。	以下のように対処してください。 • コンテンツ送信先が起動され、実行中であることを確認します。 • コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。
ストレージが満杯です	ストレージが満杯です。	

		• 録画がコンテンツ送信先に正常に転送されることを確認します。 • コンテンツ送信先に十分なライセンスがあることを確認します。 • コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と同期していることを確認します。
使用不可	システムコントローラーが使用できません。	以下のように対処してください。 • システムコントローラーがオンになっていることを確認します。 • システムコントローラーへのネットワーク接続を確認します。

カメラ使用状況レポートのダウンロード

カメラ使用状況レポートには、割り当てられているカメラを各ユーザーが過去30日間にどのように使用したかに関する情報が表示されます。これには、録画の開始と停止、ドッキングとドッキングの解除、電源のオンとオフ、音声のミュートなどが含まれます。

注

カメラ使用レポートはCSV形式(カンマ区切り)で、エンコーダはUTF-8です。

カメラ使用状況レポートをダウンロードするには:

1. [Users (ユーザー)] に移動します。
2. コンテキストメニュー を開きます。
3. [Camera usage report (カメラ使用状況レポート)] をクリックします。
4. [Download (ダウンロード)] をクリックします。

システムコントローラーストレージを監視する

AXIS Body Worn Managerでは、各システムコントローラーによって使用および予約されているストレージの容量を監視することができます。ストレージを監視することで、ファイルの転送に関する潜在的な問題を特定することができます。

使用済みストレージ - システムコントローラーのストレージは、録画がカメラからコンテンツ送信先に転送されるときにバッファとして使用されます。使用されるストレージのレベルが継続的に高い場合は、転送エラーを示している可能性があります。

予約済みストレージ - カメラがドッキングされると、コンテンツをシステムコントローラーにオフロードするために必要なメモリーが予約されます。すべての録画がコンテンツ送信先に転送されると、予約は削除されます。予約済みストレージが残っている場合は、転送エラーが発生している可能性があります。

ストレージ情報を表示するには、[System controllers (システムコントローラー)] に移動し、目的のシステムコントローラーをクリックします。

カメラがドッキング解除されていた期間の確認

AXIS Body Worn Managerでは、カメラがドッキング解除されていた期間を確認できます。これにより、カメラを紛失したことや装置ソフトウェアアップグレードが必要であることなどがわかります。

カメラがドッキング解除されていた期間を確認するには、[Cameras (カメラ)] に移動し、目的のカメラをクリックします。

証明書の有効期限が切れたカメラの概要の取得

カメラが8〜12週間ドッキングされていない場合、最終的に証明書の有効期限が切れ、カメラはセーフモードに入ります。証明書が有効期限切れになっている場合、カメラが紛失した可能性があります。

証明書の有効期限が切れたカメラの一覧を表示するには、以下の手順に従います。

1. [Cameras (カメラ)] に移動します。
2. [Filter (フィルター)] をクリックし、[Undocked (ドッキング解除済み)] を選択します。

[Certificate expired (証明書の有効期限切れ)] アラートのあるカメラが、ドッキング解除されていた期間に基づいて並べ替えられます。

証明書の有効期限が切れたカメラをシステムに戻すには、を参照してください。

別のシステムに属するカメラを検索する

AXIS Body Worn Manager Proを使用して複数の装着式システムを管理する場合、ユーザーはどのシステムにもカメラをドッキングすることができます。カメラが最初に追加されたシステムはホームシステムです。別のシステムにドッキングされているカメラは、そのシステムではゲストカメラとして表示されます。

システム内のすべてのゲストカメラを検索するには、以下の手順に従います。

1. [Cameras (カメラ)] に移動します。
2. [Filter (フィルター)] をクリックし、[Guest (ゲスト)] を選択します。

電子メール通知の設定

次のイベントについて電子メールで通知するように装着式システムを設定できます。

- コンテンツ保存先との接続が失われました
- 拡張システムコントローラーとの接続が失われました
- システムコントローラーストレージの残量が少なくなりました
- システムバックアップの同期に失敗しました
- AXIS OSの新しいバージョンが使用可能になりました
- クラウド拡張機能への接続が失われました

システム通知をオンにするには：

1. [Add-on services (アドオンサービス)] > [Cloud (クラウド)] > [Cloud extensions (クラウド拡張機能)] > [Email notifications (電子メール通知)] の順に移動します。
2. 電子メールアドレスを入力します。
3. [Set (設定)] をクリックします。

通知の受信を停止するには、電子メールアドレスを削除して、[Set (設定)] をクリックします。

注

- 電子メール通知機能には、クラウド拡張機能へのアクセスが必要です。
- 複数の人に電子メール通知を送信するには、メーリングリストを使用します。

システムのメンテナンス

重要

AXIS Body Worn Managerから、システムのリセットやカメラの取り外しなど、すべての装着式システムメンテナンスを必ず起動してください。

パスワードの変更

1. [Settings (設定)] > [System (システム)] > [Accounts (アカウント)] の順に移動します。
2. 変更するアカウントのコンテキストメニュー を開きます。
3. [Edit] (編集) をクリックします。
4. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。現在のパスワードは、rootアカウントを変更する場合にのみ必要です。
5. [保存] をクリックします。

アカウントの追加

AXIS BodyWorn Managerのアカウントを追加するには：

1. [Settings (設定)] > [System (システム)] > [Accounts (アカウント)] の順に移動します。
2. [Add account (アカウントの追加)] をクリックします。
3. 権限を選択します。管理者には、すべての設定に対するフルアクセス権があります。閲覧者は設定を変更できません。
4. ユーザー名とパスワードを入力します。
5. [保存] をクリックします。

システムレポートのダウンロード

装着式システムからシステムレポートをダウンロードすることができます。Axisのサポートではトラブルシューティングにシステムレポートを使用しています。

1. [Settings (設定)] > [Maintenance (メンテナンス)] > [System report (システムレポート)] に移動します。
2. [System report (システムレポート)] をクリックします。
3. ファイルをAxisサポートに送信します。

注

- システムレポートには、システムにある、またはシステムにドッキングされている、すべてのシステムコントローラーとカメラが含まれます。ドッキングすると、カメラの最新のログが含まれます。
- システムレポートは、ダウンロードした瞬間に生成されるだけでなく、毎日1回自動で生成されます。これは、7日間システムに保存され、その後、新しいものに置き換わります。

カメラを別の装着式システムに移動

別のシステムで、装着式カメラを使用するには、まず、現在のシステムからカメラを削除する必要があります。その後、新しいシステムにカメラを追加することができます。

カメラを別の装着式システムに移動するには:

1. 現在のシステムからカメラを削除します。を参照してください。
2. 新しいシステムにカメラを追加するには、の手順に従ってください。

接続ファイルを変更する

コンテンツ送信先への接続が失われた場合、可能な解決策は、現在の接続ファイルを新しいものに置き換えることです。コンテンツ送信先が新しいIPアドレスを取得したり、コンテンツ送信先で特定の設定が変更されたりすると、接続が失われることがあります。

1. [Settings (設定)] に移動します。
2. コンテンツ送信先の [Configuration (設定)] で、をクリックします。
3. 新しい接続ファイルをアップロードします。
4. [保存] をクリックします。

注
別のコンテンツ送信先に切り替える場合は、システムをリセットする必要があります (を参照)。

システムからハードウェアを削除する

カメラを削除する

注
ドッキングされているカメラと使用中のカメラの両方を削除できます。使用中のカメラを削除するように選択すると、すべてのコンテンツが転送され、ドッキング後にカメラが削除されます。コンテンツの転送が完了すると、カメラは最新のアップロードされた装置ソフトウェアを使用して工場出荷時の設定にリセットされます。

装着式システムからカメラを取り外すには、以下のようにします。

1. [Cameras (カメラ)] に移動します。
2. 削除するカメラを開きます。
3. コンテキストメニュー を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

重要
装着式カメラをコンテンツの宛先から削除しないでください。カメラの削除には、必ずAXIS Body Worn Managerを使用してください。

カメラが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、を参照してください。

カメラの強制削除

カメラが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、装着式システムからカメラを強制削除できます。このオプションは、カメラが [Undocked (ドッキング解除済み)] 状態のときにのみ使用できます。カメラを強制削除するには、スーパーアドミンパスフレーズを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。カメラを強制削除するには:

- [Cameras (カメラ)] に移動します。
- 削除するカメラを開きます。
- コンテキストメニュー を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
- [削除] をクリックします。

- スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
- [Force remove (強制削除)] をクリックします。

拡張システムコントローラーを削除

注

- 拡張システムコントローラーを物理的に取り外す前に、AXIS Body Worn Managerで必ずシステムから削除してください。
- 装着式システムからシステムコントローラーを取り外すと、すべてのコンテンツがコンテンツの保存先に転送され、システムコントローラーが工場出荷時の設定にリセットされます。

拡張システムコントローラーを装着式システムから削除するには:

1. [System controllers (システムコントローラー)] に移動します。
2. 削除するシステムコントローラーをクリックします。
3. コンテキストメニュー ⋮ を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

システムコントローラーが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、を参照してください。

拡張システムコントローラーの強制削除

重要

強制削除された拡張システムコントローラーを再び使用することはできません。

拡張システムコントローラーが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、装着式システムから拡張システムコントローラーを強制削除できます。このオプションは、拡張システムコントローラーが [Unavailable (使用不可)] 状態の場合にのみ使用できます。拡張システムコントローラーを強制削除するには、スーパーアドミンパスフレーズを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。拡張システムコントローラーを強制削除するには:

- 強制削除する拡張システムコントローラーを削除します (を参照)。拡張システムコントローラーが [Unavailable (使用不可)] 状態の場合、そのコントローラーは装置リストに残りますが、グレー表示されます。
- 強制削除する拡張システムコントローラーを再度開きます。
- コンテキストメニュー ⋮ を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
- スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
- [Force remove (強制削除)] をクリックします。

システムハードウェアの交換

装着式システム中でカメラとシステムコントローラーを交換することができます。

カメラを交換する

1. 交換するカメラをドッキングします。
2. AXIS Body Worn Managerを開き、カメラのオフロードが停止するまで待ちます。
3. システムからカメラを削除します。を参照してください。
4. カメラのドッキングを解除します。
5. 新しいカメラをシステムに追加します。を参照してください。

拡張機能システムコントローラーの交換

システムコントローラーを交換するには、以下の手順で、装着式システムの一部であるシステムコントローラーを交換します。

1. 古いシステムコントローラーを取り外します。を参照してください。
2. 新しいシステムコントローラーを追加します。を参照してください。

システムコントローラーの交換

システムを作成したシステムコントローラーが故障した場合は、システムコントローラーを交換してシステムを復元する必要があります。を参照してください。

システムまたはハードウェアをリセットする

カメラ、システムコントローラー、または装着式システムをリセットし、工場出荷時の設定に戻すことができます。

カメラのリセット

カメラを工場出荷時の設定にリセットするには、装着式システムから取り外します。を参照してください。

拡張システムコントローラーのリセット

拡張システムコントローラーを装着式システムから削除することで、工場出荷時の設定にリセットできます。を参照してください。

AXIS Body Worn Managerから装着式システムにアクセスできない場合は、各拡張システムコントローラーに個別にアクセスしてリセットすることができます。

1. 拡張システムコントローラーにアクセスします。
2. コンテキストメニュー ⋮ を開きます。
3. [Reset system controller (システムコントローラーをリセット)] をクリックします。

注

バックアップ拡張システムコントローラーを工場出荷時の設定にリセットすることはできません。

システムのリセット

重要

- 装着式システムをリセットする前に、コンテンツの保存先を絶対に削除またはリセットしないでください。必ず装着式システムを最初にリセットしてください。最初にコンテンツの保存先を削除またはリセットすると、録画がカメラまたはシステムコントローラーに残り、装着式システムをリセットできなくなります。これは、すべての証拠がコンテンツの保存先にアップロードされるようにするセキュリティ機能です。
- AXIS Body Worn Managerでカメラやユーザーを削除する前に、コンテンツの保存先からカメラやユーザーを削除しないでください。

装着式システムすべてを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするには:

1. すべてのカメラを取り外します。を参照してください。
2. 可能であれば、コンテンツ送信先の対応するカメラを無効にします。
3. すべての拡張システムコントローラーを削除します。を参照してください。

4. [Settings (設定)] > [Maintenance (メンテナンス)] > [System rest (システムのリセット)] に移動し、[Reset system (システムのリセット)] をクリックします。

ペアリングされた機器を削除する

1. [Users (ユーザー)] に移動します。
2. ペアリングを削除するユーザーをクリックします。
3. 削除する装置を特定してコンテキストメニューを開きます。
4. **[削除]** をクリックします。

注

カメラユーザーとAXIS Body Worn Assistant間のペアリングを装着式システムから削除した場合でも、そのペアリングは引き続きAXIS Body Worn Assistantに残ります。AXIS Body Worn Assistantで既存のペアリングを置き換える方法については、を参照してください。

システムのリストア

まれな状況として、システムを最初に作成したシステムコントローラーが故障した場合は、システムをリストアすることができます。複数のシステムコントローラーを使用したシステムの復元は、単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する場合とは異なります。

複数のシステムコントローラー - すべてのユーザー、カメラプロファイル、カメラの割り当て、システム設定を含めて、システムを復元できます。拡張システムコントローラーに保存されたバックアップからシステムをリストアすると、そのコントローラーがAXIS Body Worn Managerにアクセスするシステムコントローラーになります。システムのリストアには、システムを再起動するのと同じくらいの時間がかかります。システムをリストアする方法については、を参照してください。

単一のシステムコントローラー - システムコントローラーを交換して、装着式システムと既存のカメラとの間の接続を再確立することができます。システムを復元するには、最新のシステム復元キーが必要です。を参照してください。システムをリストアする方法については、を参照してください。

複数のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する

Axisの装着式システムのバックアップとリストア

装着式システムをリストアするためには、先にシステムバックアップを設定しておく必要があります。手順については、を参照してください。

装着式システムを復元するには：

1. システムバックアップを含む拡張システムコントローラーにアクセスします (Webブラウザーにシステムコントローラーの IPアドレスを入力します)。
2. コンテキストメニュー を開きます。
3. [Restore system (システムの復元)] をクリックします。
4. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
5. [Restore (復元)] をクリックします。

6. 復元されたシステムと既存の拡張システムコントローラー間の接続を再確立します。
   6.1. すべての拡張システムコントローラーをリセットします。を参照してください。
   6.2. すべての拡張システムコントローラーを設定します。を参照してください。
7. 装着式システムと既存のカメラの間の接続を再確立します。を参照してください。

重要

システムの復元が完了したら、バックアップを再設定してください。以前のバックアップシステムコントローラーが、AXIS Body Worn Managerにアクセスする場所になりました。また、故障したシステムコントローラーを新しいものと交換する必要があります。

単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する

1. 新しいシステムコントローラーをインストールします。
2. 新しいシステムコントローラーにアクセスします。を参照してください。
3. [Restore (復元)] をクリックします。
4. 管理者アカウントを作成し、[Next (次へ)] をクリックします。
5. 管理者アカウントの認証情報を使用してログインします。ユーザー名は`root`です。
6. 最新の装置ソフトウェアをインストールし、[Next (次へ)] をクリックします。
7. [Select System restore key (システム復元キーの選択)] をクリックし、以前にダウンロードしたシステムの復元キーを見つけて開きます。
8. スーパーアドミンパスフレーズを入力し、[Next (次へ)] をクリックします。
9. システム設定を完了します。
10. .

重要

- システムコントローラーが1つしかないシステムを復元するということは、装着式システムと既存のカメラとの間の接続を再確立することを意味します。ユーザー、カメラプロファイル、コンテンツの保存先などのシステム設定は復元されません。
- システム復元キーを持っている場合にのみシステムを復元できます。システムに障害が発生した場合、システム復元キーをダウンロードできないことがあります。最初のシステム設定時にシステム復元キーをダウンロードして、安全な場所に保管することをお勧めします。

システムリストアキーのダウンロード

システム復元キーをダウンロードするには、以下の2つの方法があります。

- システム復元キーは、システム設定の際に生成され、ダウンロードされます。
- AXIS Body Worn Managerでシステム復元キーをいつでもダウンロードすることができます。

AXIS Body Worn Managerからシステムリストアキーをダウンロードするには:

1. [Settings (設定)] > [Maintenance (メンテナンス)] > [System restore key (システム復元キーの選択)] に移動します。
2. [System restore key (システムリストアキー)] をクリックします。
3. システム設定時に作成したスーパーアドミンパスフレーズを入力します。
4. [Download (ダウンロード)] をクリックして、システム復元キーを安全な場所に保存します。

重要

- システム復元キーはパスフレーズで保護されています。
- システム復元キーとスーパーアドミンパスフレーズは、常に安全な方法で保管してください。

カメラをシステムに戻す

セキュリティ上の理由から、8週間ドッキング解除されているカメラはセーフモードになります。

セーフモード中のカメラはシステムに戻すことができます。これを行うには、スーパーアドミンパスフレーズを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。

カメラの装着式システムへの接続の再確立を許可する方法:

1. **[Dashboard (ダッシュボード)]** に移動します。
2. アラートが [**In safe mode (セーフモード中)**] のカメラを開きます。
3. セーフモード中のカメラが複数ある場合は、許可するカメラを選択します。
4. **[Next (次へ)]** をクリックします。
5. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
6. [**Allow cameras (カメラを許可)**] をクリックします。

破損したカメラからの録画の回復

カメラが故障または破損しても、内部ストレージが損傷していなければ、カードリーダーと同じモデルの別のカメラを使用して録画を回復することができます。

重要

故障または破損したカメラがAXIS W110である場合、または録画の回復に関するサポートが必要な場合は、Axisサポートにお問い合わせください。

要件：

- 故障または破損したカメラの代わりとなる同じモデルのカメラ。代りとなるカメラがすでにシステムに追加されているカメラである場合は、事前に割り当てを解除して、システムから削除する必要があります。
- USB microSDカードリーダー（例：SanDisk® MobileMate® USB 3.0 microSD™カードリーダー）。

1. 故障または破損したカメラを装着式システムから強制的に取り外します。を参照してください。
2. T6ドライバーを使って、故障または破損したカメラをを開けます。
3. SDカードホルダーの前にあるゴムストッパーを取り外します。次に、ホルダーを少し前に引いて持ち上げ、故障または破損したカメラからmicroSDカードを慎重に取り外します。
4. 代りのカメラを、装着式システムに接続されているドッキング ステーションにドッキングします。
5. microSDカードをカードリーダーに挿入します。
6. 代りのカメラがドッキングされているシステムコントローラーのUSBコネクターにカードリーダーを挿入します。
   同じシステムコントローラーで一度に回復できるmicroSDカードは1枚のみです。
7. **[Cameras (カメラ)]** に移動して、**[Recover (回復)]** をクリックします。
8. 故障または破損したカメラのシリアル番号をリストから選択して、**[Next (次へ)]** をクリックします。

9. 代りのカメラを選択して、**[Recover (回復)]** をクリックします。
10. スーパーアドミンパスフレーズを入力して、**[Confirm (確認)]** をクリックします。

代りのカメラが **Recovering (回復中)** の状態となります。この状態が30分ほど続きます。その後、カメラが再起動し、コンテンツ送信先への録画のアップロードが開始されます。このプロセスが完了すると、カメラにユーザーを割り当てて使用できるようになります。

復元した録画を確認するには、代わりのカメラをクリックして録画のリストを確認します。復元した録画には破損したカメラのシリアル番号が表示されています。

重要

手順を繰り返す必要がある場合は、まずシステムコントローラーからカードリーダを取り外してください。

システムコントローラーから録画を取得

通常、コンテンツ送信先は、カメラユーザーからの録画や、コンテンツ送信先から削除されたカメラからの録画を受け入れます。しかし、これがサポートされていない場合、AXIS Body Worn Managerではなく、コンテンツ送信先でユーザーやカメラを削除すると、システムコントローラーから録画が転送されない可能性があります。転送できなかった録画を取得するには、次の2つの方法があります。

- コンテンツ送信先がサポートしている場合は、コンテンツ送信先の「拒否されたコンテンツストレージ」という別の領域に録画を転送します。手順については、を参照してください。
- 転送されなかった録画をUSBストレージデバイスにダウンロードします。手順については、を参照してください。

却下されたコンテンツのストレージに録画を転送する

注

- 却下されたコンテンツのストレージは、AXIS Camera Station Pro 6.6以降でサポートされています。詳細については、*AXIS Camera Station Pro ユーザーマニュアル*を参照してください。
- 却下されたコンテンツのストレージに録画を転送するには、スーパーアドミンパスフレーズを通して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。

1. **[System controllers (システムコントローラー)]** に移動します。
2. 影響を受けたシステムコントローラーを開きます。
3. **[Transfer to rejected content storage (却下されたコンテンツのストレージに転送)]** をクリックします。
4. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。

録画をUSBストレージデバイスにダウンロードする

注

- USBストレージデバイスに録画をダウンロードするには、スーパーアドミンパスフレーズを通して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。
- USBストレージ装置はexFATファイルシステムでフォーマットされている必要があります。exFATパーティションのみが含まれている必要があり、他のパーティションやファイルシステムを含めることはできません。
- USBコネクターは最大500 mAを供給できます。

録画をUSBストレージデバイスにダウンロードするには、以下の手順に従います。

1. [System controllers (システムコントローラー)] に移動します。
2. 影響を受けたシステムコントローラーを開きます。
3. [Download recordings (録画をダウンロード)] をクリックします。
4. exFATファイルシステムでフォーマットされたUSBストレージ装置を対象のシステムコントローラーに挿入します。
5. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
6. 録画の暗号化パスフレーズを入力します。
7. [Download (ダウンロード)] をクリックします。

注

ダウンロードした録画を抽出するには、AES-256暗号化アーカイブに対応した*7-Zip*を使用することをお勧めします。デフォルトのzipアプリケーションは、装着式システムのアーカイブに対応していない可能性があります。

日付と時刻を調整

装着式システムに含まれているすべての装着式カメラは、システムと同じ日付と時刻を受け取ります。デフォルトでは、日付と時刻はDHCPによって提供されるNTPサーバーと同期されます。

重要

- システムの日付と時刻を正確に保つために、NTPサーバーと同期させることをお勧めします。
- 装着式システムの時刻とタイムゾーンは、コンテンツ送信先の時刻とタイムゾーンと常に一致している必要があります。
- 装着式システムに設定されている時刻が正しくない場合、時間差によってGPSが録画に位置情報データを提供できないことがあります。
- 録画を証拠資料として使用する場合、正しいシステム時刻が重要になります。

日付と時刻の設定を変更するには:

1.
2. [Settings (設定)] > [System (システム)] > [Date and time (日付と時刻)] の順に移動します。

デバイスのソフトウェア

AXIS OSは、Axisエッジ装置のオペレーティングシステムです。これには、AXIS BodyWorn Managerが含まれています。

装着式システムのさまざまなAXIS OSトラックがサポートされています。これにより、[Active (アクティブ)] トラックの最新機能をすべて利用する場合も、[Long-term support (LTS) (長期サポート (LTS))] トラックの安定性を優先する場合も、システムに最適なトラックを選択することができます。装置ソフトウェアアップグレードの支援を通じて、選択したトラックに新しいバージョンが追加されるたびに通知を受け取ることができます。

注

装置ソフトウェアアップグレードの支援を使用するには、まずクラウド拡張機能をオンにする必要があります。を参照してください。

AXIS OSトラックを選択するには、[Settings (設定)] > [Maintenance (メンテナンス)] > [Device software (装置ソフトウェア)] に移動し、[Change track (トラックの変更)] をクリックします。

お使いのシステムに最適なトラックに関する推奨事項については、*AXIS OSライフサイクル管理*を参照してください。

装置ソフトウェアのアップグレード

装着式システムは、リリースされた新しい装置ソフトウェアバージョンを検知します。通知がAXIS Body Worn Managerに表示されます。

注

新しい装置ソフトウェアバージョンを自動検知するには、クラウド拡張機能が必要で、システムから`*.bodyworn.axis.cloud`にアクセスできるようになっている必要があります。

最新の装置ソフトウェアバージョンをインストールするには：

1. [Settings (設定)] > [Maintenance (メンテナンス)] > Device software (デバイスソフトウェア)] に移動します。
2. [アップグレード] をクリックします。

クラウド拡張機能がない場合、または最新のファームウェアバージョンではなく別の装置ソフトウェアバージョンを指定する場合：

1. [Settings (設定)] > [Maintenance (メンテナンス)] > Device software (デバイスソフトウェア)] に移動します。
2. [Choose file (ファイルの選択)] をクリックして、コンピューター上の装置ソフトウェアファイルを選択します。
3. [Upload and install (アップロードとインストール)] をクリックします。

装置ソフトウェアのアップグレードは直ちに有効になります。システム内のすべてのシステムコントローラーがアップグレードされます。アップグレードが完了すると、システムは再起動します。使用中のカメラは、次にドッキングしたときにアップグレードされます。

注

*axis.com*から装置ソフトウェアをダウンロードすることができます。

装置ソフトウェアのダウングレード

注

装着式システムに現在インストールされている装置ソフトウェアを以前のバージョンにダウングレードするには、システムをリセットする必要があります。

装着式システムを以前の装置ソフトウェアバージョンにダウングレードするには、次の手順に従います。

1. .
2. 新しい装着式システムを作成し、使用するファームウェア装置ソフトウェアバージョンをインストールします。

装置ソフトウェアバージョンレポート

装置ソフトウェアバージョンレポートには、装着式システムに現在属しているすべてのカメラとシステムコントローラーの、現在の装置ソフトウェアバージョンが表示されます。システムの一部でなくなったものも含め、すべての装置の以前のバージョンに関する情報を取得することもできます。これにより、システムのトレーサビリティと履歴の概要が得られます。それにより、システム管理者は装置のライフタイム全体にわたって装置のステータスを追跡できます。

デバイスソフトウェアバージョンレポートは、[Settings (設定)] > [Maintenance (メンテナンス)] > [Device software (装置ソフトウェア)] からダウンロードできます。

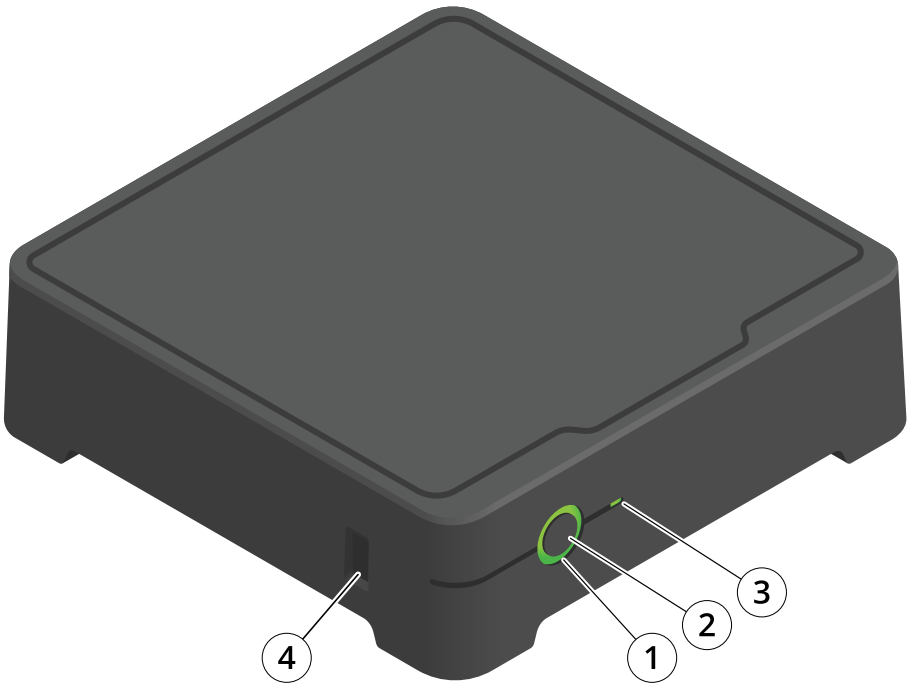
システムコントローラー

システムコントローラーは装着式ソリューションの中心的な統合・管理ポイントです。これは、装着式カメラからコンテンツ送信先まで、証拠が安全な方法で転送されるよう制御します。

注

システムコントローラーはストレージ装置ではありません。システムコントローラーのストレージは、コンテンツがカメラからコンテンツ送信先に転送されるときにバッファとして使用されます。装着式システムは、録画が保存されているコンテンツの保存先に接続されて初めて機能します。

製品概要



番号	名称	説明
1	ステータスLED	緑:システムコントローラーを使用する準備ができました。 黄色:ストレージ警告。ストレージ容量の残りが8% 未満。 赤:一般的な警告。コンテンツ送信先との接続に失敗しました。またはストレージエラーが発生しました。
2	電源ボタン	を参照してください。
3	ストレージLED	緑:スタンバイ 緑の点滅:ストレージへアクセス中 赤:ストレージエラー
4	USBコネクター	

1 電源コネクター
2 ドッキングステーションのポート (左から右へ：5、4、3、2、1)
3 ネットワーク コネクター

日常的な使用

目的のアクション	動作	情報
システムコントローラーの電源を入れます	**電源ボタン**を押します。	ステータスLEDが黄色に変わります。システムコントローラーが使用可能な状態になると、ステータスLEDが緑色に変わります。

システムコントローラーの電源をオフにします	ステータスLEDが黄色に変わるまで**電源ボタン**を押し続けます。	シャットダウンは、ステータスLEDが黄色に変わると開始します。ステータスLEDがオフになると、システムコントローラーがオフになります。
拡張システムコントローラーをリモートで再起動する	1. [System controllers (システムコントローラー)] に移動します。 2. 再起動する拡張システムコントローラーを開きます。 3. コンテキストメニューを開きます。 4. [Restart (再起動)] をクリックします。	システムコントローラーを再起動すると、進行中のすべてのプロセスが停止し、コントローラーには一時的にアクセスできなくなります。

Axis装着式カメラ

装着式カメラの日常的な使用とトラブルシューティングについては、各カメラモデルのユーザーマニュアルを参照してください。

- *AXIS W100 Body Worn Camera*
- *AXIS W101 Body Worn Camera*
- *AXIS W102 Body Worn Camera*
- *AXIS W110 Body Worn Camera*
- *AXIS W120 Body Worn Camera*

カメラに関する情報を検索する

1. [Cameras (カメラ)] に移動します。
2. 探しているカメラを開きます。
3. [Overview (オーバービュー)] タブには、カメラに関する一般的な情報が表示されます。例:
   - **割り当てられたユーザー**：システムが固定カメラ割り当てを使用している場合、カメラに割り当てられたユーザー。
   - **シリアル番号**：デバイスのシリアル番号
   - **IMEI**：国際移動体装置識別番号（International Mobile Equipment Identity number)。
   - **状態**：カメラの現在の状態。カメラがドッキングされている場合、ドッキングされているシステムコントローラーが表示されます。カメラがドッキング解除されている場合、ドッキング解除されている時間が表示されます。
   - **SIMカード**：PINに関する情報。SIMカードがロックされている場合は、PINを入力してロックを解除することができます。
   - 録画のリストと、各録画が現在カメラ、システムコントローラー、またはコンテンツ送信先のどこにあるか。
4. **[Battery health (バッテリーの状態)]** のタブに以下のようなカメラのバッテリーに関する情報が表示されます。
   - 最後のドッキング解除時およびドッキング時の充電レベル。
   - 完全充電サイクル数。
   - **スマート充電モード**：バッテリーを100%まで充電しないことで、バッテリー寿命を延ばすことができます。カメラは長時間ドッキングされている場合、自動的にスマート充電モードに入ります。スマート充電モードは一時的に中断できます。

ブックマーク

録画内のブックマークは、後で最も関連性の高い情報を見つけやすくします。ブックマークは、AXIS Body Worn Assistantビデオプレーヤーのタイムラインに表示され、その間をスキップできます。ブックマークは録画のメタデータの一部であるため、コンテンツ送信先でも同様の方法で使用できます。

ブックマークを作成するには、録画中に装着式カメラの録画ボタンを1回だけ押します。

注

この機能は、コンテンツ送信先でサポートされている場合に利用できます。

AXIS Body Worn Assistant

AXIS Body Worn Assistantは、以下を実行できるモバイルアプリケーションです。

- 録画されたビデオを見る
- ライブビデオを見る
- 録画のロケーションデータを表示する
- コンテンツの保存先でサポートされている場合、録画ビデオにカテゴリや説明を追加する
- 装着式カメラのバッテリーとストレージの残量を確認する
- Daily Use Guideなどのユーザーヘルプにアクセスする
- ブックマークを表示する

AXIS Body Worn Assistantアプリのダウンロード

Androidの場合は、*[download (ダウンロード)]* をクリックするか、QRコードをスキャンします。

iOSの場合は、*[download (ダウンロード)]* をクリックするか、QRコードをスキャンします。

注

- 録画ビデオをモバイル装置に保存することはできません。
- 画像のビジュアルウォーターマークは、AXIS Body Worn Assistantでビデオを再生したときにのみ表示されます。ビジュアルウォーターマークの目的は、作成元を参照しないで第三者がビデオを拡散することを防止することです。
- 録画は、カメラを接続するまでAXIS Body Worn Assistantで再生することができます。カメラを接続すると、システムコントローラーがコンテンツの配信先に録画を転送し、カメラは空になります。

カメラユーザーをAXIS Body Worn Assistantとペアリングします。

AXIS Body Worn Assistantの使用を開始するには、カメラユーザーをAXIS Body Worn Assistantとペアリングする必要があります。AXIS Body Worn ManagerでQR Code®とPINコードを生成し、AXIS Body Worn Assistantでスキャンして入力します。これにより、安全なペアリングが行われます。

AXIS Body Worn Managerでは、2つの方法でカメラユーザーとモバイル装置をペアリングできます。

ローカルペアリング - 装着式カメラユーザーとモバイルデバイスにアクセスできます。

リモートペアリング - 装着式カメラユーザーとモバイル装置にアクセスできません。カメラカメラユーザーに電子メールでペアリングリクエストが送信されます。

注

ペアリングを完了するには、ペアリングするカメラをカメラユーザーに割り当てる必要があります。

1. [Users (ユーザー)] に移動します。
2. モバイル装置とペアリングするユーザーをクリックします。
3. をクリックして、ペアリングを開始します。
4. AXIS Body Worn Assistantオプションで [Pair (ペアリング)] をクリックします。
5. [Local pairing (ローカルペアリング)] または [Remote pairing (リモートペアリング)] を選択して [Next (次へ)] をクリックします。
6. モバイル装置を1人以上のユーザーとすでにペアリングしている場合:
   6.1. AXIS Body Worn Assistantで、[More (その他)] をタップします。
   6.2. [Paired users (ペアリング済みユーザー)] をタップします。
   6.3. をタップします。
7. AXIS Body Worn ManagerとAXIS Body Worn Assistantの画面に表示される手順に従います。

注

- QRコードとPINコードの有効期限は24時間です。AXIS Body Worn Managerでユーザーをクリックしてコンテキストメニューを開き、[Details (詳細)] をクリックすることで、ペアリングされた機器の詳細が表示されます。
- 装着式カメラの接続をドッキング解除してから5分以内にAXIS Body Worn AssistantにPINコードを入力する必要があります。
- モバイル装置を複数のカメラユーザーとペアリングできます。
- AXIS Body Worn Assistantはカメラユーザーとペアリングされます。つまり、ペアリングしたユーザーにカメラを割り当てると、任意のカメラをAXIS Body Worn Assistantに接続できます。
- AXIS Body Worn Assistantが8週間カメラに接続されていない場合は、ペアリングの有効期限が切れます。再接続するには、古いペアリングを削除してから、このセクションの手順に従って新しいペアリングを作成します。

既存のペアリングの削除

1. AXIS Body Worn Managerで既存のペアリングを削除します。を参照してください。
2. AXIS Body Worn Assistantを開き、[More (その他)] をタップします。
3. [Paired users (ペアリング済みユーザー)] をタップします。
4. ペアリングを削除するユーザーをタップします。
5. [Delete (削除)] をタップします。
6. 既存のペアリングを削除することを確認します。

AXIS Body Worn Assistantを装着式カメラに接続します。

注

AXIS Body Worn Assistantを装着式カメラに初めて接続する場合は、装着式カメラシステム管理者が、カメラのユーザーをモバイル装置上のAXIS Body Worn Assistantとペアリングする必要があります。

1. モバイル装置上のAXIS Body Worn Assistantを開きます。
2. モバイル装置が複数のカメラユーザーとペアリングされている場合は、接続するユーザーをリストから選択します。
3. [Connect (接続)] をタップします。
4. 画面の指示に従います。

AXIS Body Worn Assistantユーザーガイド

目的のアクション	必要なアクション
1フレーム早送りまたは巻戻し	1フレーム早送りするには、ビデオ右側をダブルタップします。1フレーム巻き戻すには、ビデオ左側をダブルタップします。
録画されたビデオをスローモーションで見る	ビデオの任意の場所を長押しします。
録画されたビデオを見る	[Recordings (録画)] を開きます。新しい録画を見るには、下方向にスワイプして画面を更新する必要がある場合があります。
カメラからライブビデオを見る	[Live view (ライブビュー)] を開きます。
カメラのバッテリーとストレージの残量を確認する	[Camera (カメラ)] を開きます。
録画されたビデオにカテゴリを追加する	カテゴリを追加するビデオを開きます。定義済みのカテゴリから1つ選択します。詳細については、を参照してください。
録画されたビデオに注記を追加する	注記を追加するビデオを開きます。注記を加えます。[Information (情報)] ビューを閉じると、注記が保存されます。詳細については、を参照してください。
別のWi-Fiネットワークに変更する	1. [Camera (カメラ)] を開きます。 2. ペンアイコン をタップします。 3. Wi-Fiネットワーク名とパスワードを入力し、[OK] タップします。 注 この方法でWi-Fiネットワークを追加すると、そのネットワークはカメラプロファイルで追加されたネットワーク、またはAXIS Body Worn Managerでユーザーに直接追加されたネットワークよりよりも優先されます。

カテゴリーと注記

カテゴリと注記には、録画に関する追加情報が含まれています。たとえば、調査員または証拠管理システムが案件の作成やファイルの管理を行う際などにこの情報を役立てることができます。AXIS Body Worn Assistantを使用すると、カメラ上にある録画にカテゴリと注記を追加できます。

注

これらの機能は、コンテンツの保存先でサポートされている場合に利用できます。

AXIS Body Worn TV Dashboard

AXIS BodyWorn TV Dashboardは、Android TVアプリです。これにより、装着式システムのカメラの状態をリアルタイムで表示することができます。カメラユーザーがカメラを受領または返却する部屋のテレビにアプリをインストールすることで、関連性の高い情報をわかりやすく提供することができます。アプリによって表示される内容：

- カメラのドッキングとドッキング解除。
- カメラのバッテリーレベル。
- エラーまたは警告が表示されたカメラ。
- カメラがドッキング解除されていた期間

注

AXIS W100 Body Worn Cameraのバッテリーレベルは表示されません。

アプリをカスタマイズすることで、ユーザー名を表示または非表示にすること、勤務シフトよりも長い時間ドッキング解除されているカメラに警告を表示すること、カメラのドッキングとドッキング解除の状態が変化した場合に強調表示することなどができます。

要件

- アプリにログインできる閲覧者権限が備わっているユーザーアカウント。アカウントを作成するには、を参照してください。
- Android TV装置。
- アプリをダウンロードするためのインターネットアクセス。更新時にもインターネットアクセスが必要となります。アプリの実行にはインターネットアクセスは不要です。
- アプリを実行するには、テレビ装置がシステムコントローラーと同じネットワークになければなりません。

AXIS Body Worn TV Dashboardアプリをダウンロードできます。詳しくは、*axis.com* をご覧ください。

トラブルシューティング

技術的な問題、ヒント、解決策

	問題	原因	解決策
概要	カメラを削除できません。	AXIS Body Worn Managerで削除する前に、拡張システムコントローラーがシステムから物理的に取り外されています。これにより、転送ステータスがシステムで確認されません。	すべてのコンテンツがコンテンツ送信先に転送されたことを確認するには、拡張システムコントローラーをシステムから物理的に取り外す前に、AXIS Body Worn Managerでコントローラーを削除します。その後、カメラを取り外すことができます。
	カメラのステータスが **[In safe mode (セーフモード中)]** です	カメラが8週間、ドッキング解除されている場合、セキュリティ上の理由からカメラはセーフモードになります。	を参照してください。
	カメラはシステムによって検出されず、AXIS Body Worn Managerに表示されません。	ドッキングステーションは、ルーターまたはスイッチ経由でシステムコントローラーに接続されています。	ネットワークでIPv6を有効にします。
ドッキングステーション	ドッキングステーションのLEDが点灯しません。	ドッキングステーションに電力が供給されていません。	電源をドッキングステーションに接続します。ドッキングステーションにはPoEで給電することはできません。
	カメラが充電されません。 カメラがファイルをオフロードしません。	カメラが正しくドッキングされていないか、ドッキングステーションに問題があります。	以下のように対処してください。 1. カメラをドッキング解除した後、適切にドッキングします。 2. カメラのコネクターとドッキングベイのポゴピンを掃除します。手順については、カメラのユーザーマニュアル (*help.axis.com*) の**クリーニング**を参照してください。

	問題	原因	解決策
			3. 他のカメラを正常に接続できる別のドッキングベイに、このカメラをドッキングします。カメラが充電またはファイルのオフロードを開始した場合は、元のドッキングベイに障害があります。したがって、ドッキングステーションを交換する必要があります。
システムコントローラー	AXIS IP Utilityにシステムコントローラーが見つかりません。	古いバージョンのAXIS IP Utilityを使用しています。	AXIS IP Utilityバージョン4.14以降にアップグレードしてください。
		システムコントローラーがオフになっています。	電源をシステムコントローラーに接続します。
		システムコントローラーがネットワークに正しく接続されていません。	システムコントローラーをお使いのネットワークに接続します。
	拡張システムコントローラーとの接続が完全に失われた。	拡張システムコントローラーが8週間以上システムに接続されなかったため、証明書の有効期限が切れています。	Axisサポートに連絡する。
コンテンツ送信先	コンテンツの保存先に録画が表示されません。	コンテンツ送信先が利用できません。	AXIS Body Worn Managerの でコンテンツ送信先のステータスを確認します。
		同時負荷オフロードは、多くの場合、転送速度に影響します。	AXIS Body Worn Managerで装置を開き、転送ステータスを確認します。録画が転送されるまで待ちます。転送ステータスの履歴は転送の完了後3日間表示されます。
		録画の転送が完了する前に、カメラのドッキングが解除されました。	AXIS Body Worn Managerで装置を開き、転送ステータスを確認します。カメラをドッキングし、すべて

	問題	原因	解決策
			の録画が転送されるまで待ちます。転送ステータスの履歴は転送の完了後3日間表示されます。
		装着式システムの時間が、コンテンツ送信先の時刻と一致していません。	装着式システムとコンテンツ送信先が一致時間を持っていることを確認してください。
		カメラとドッキングステーションの間の接続に問題があります。カメラが正しくドッキングされていません。ドッキングコネクターが汚れているか、摩耗しています。	すべてのコネクターが清浄であることを確認します。カメラのユーザーマニュアル (*help.axis.com*) のクリーニングを参照してください。
		ライセンスがありません。	ライセンスを確認し、必要に応じて追加のライセンスを購入してください。
	録画の解像度が正しくありません。	AXIS Body Worn Managerの画像解像度の設定が間違っています。	AXIS Body Worn Managerのカメラプロファイルに移動し、正しい画像解像度を設定します。
	録画が削除されました。	コンテンツ送信先のリテンション時間が短くなっています。例:コンテンツの保存場所のリテンション時間が7日間で、カメラが接続された時点で8日前に録画されたビデオがある場合は、コンテンツの保存先に転送された時点で録画は削除されます。	コンテンツが保存されている場所のリテンション時間を、より大きな値に変更します。
	録画はカメラからシステムコントローラーに転送されますが、システムコントローラーからコンテンツへの保存は行われません。	カメラがコンテンツの宛先から削除されています。	カメラが割り当てられているユーザーの名前を変更し、システムコントローラーを再起動します。
		通常、コンテンツ送信先は、カメラユーザーからの録画や、コンテンツ送信先から削除されたカメラからの録画を受け入れます。しかし、これがサポートされていない場合、AXIS Body Worn Managerではなく、コ	を参照してください。

	問題	原因	解決策
		ンテンツ送信先でユーザーやカメラを削除すると、システムコントローラーから録画が転送されない可能性があります。	
		装着式システムの時間が、コンテンツ送信先の時刻と一致していません。	装着式システムとコンテンツ送信先が一致時間を持っていることを確認してください。
		カメラとドッキングステーションの間の接続が悪いため、カメラからシステムコントローラーに録画をオフロードするのに時間がかかりすぎます。カメラが正しくドッキングされていません。ドッキングコネクターが汚れているか、摩耗しています。ドッキングベイのポゴピンが汚れているか、磨耗しています。	すべてのコネクターが清浄であることを確認します。カメラのユーザーマニュアル (*help.axis.com*) の**クリーニング**を参照してください。
	装着式システムとコンテンツ送信先との接続が失われています。	コンテンツ送信先のIPアドレスなど特定の設定が変更されました。	
AXIS Body Worn Assistant	ペアリングを完了できない。	装着式カメラとモバイル装置の間のワイヤレス範囲には制限があります。	装着式カメラとモバイル装置の間の距離を短く取ってください。
	装着式カメラに接続できません。		
	[Live view (ライブビュー)] を使用できません		
	ビジュアルウォーターマークに完全なユーザーIDが表示されない。	ビジュアルウォーターマークにはユーザーIDの最初の12文字のみが表示されます。	ユーザーIDが12文字より長い場合は、識別しやすい部分を先頭に含めることをお勧めします。
	装着式カメラに接続できません。	ペアリングの有効期限が切れているか、カメラが装着式システムから削除されています。	システム管理者に問い合わせて、新しくペアリングしてもらってください。必要な情報を受け取ったら、アプリを開いて、の手順に従います。
RFIDリーダー	リーダーのLEDがシステムコントローラーに接続しても緑色に変わりません。	装着式システムでサポートされていないRFIDリーダーを使用しています。	External RFID Card Reader 125kHz + 13.56MHz with NFC (USB)を使用してください。

	問題	原因	解決策
	ユーザーがリーダーのRFIDタグをタップした場合 (自己割り当てを使用している場合)、そのユーザーにはカメラは割り当てられません。	さまざまな理由が考えられます。 • このユーザーはすでにドッキングされていないカメラに割り当てられています。 • 現在、使用の準備が整っているカメラがありません。十分なストレージとバッテリーがあり、残りのシステムと同じAXIS OSバージョンを搭載している場合、カメラは使用する準備ができています。 • このRFIDタグがシステムに登録されていません。	• 割り当て済みのカメラをドッキングしてください。 • カメラの使用準備が整うまで待ちます。 • RFIDタグをシステムに登録します。
ビデオ	テキストオーバーレイに位置情報データがない。	位置情報データがオフになっています。	カメラプロファイルで位置情報データをオンにします。
		録画の開始時にGPS信号がありません。	-
	テキストオーバーレイにユーザーIDがない。	カメラユーザーにユーザーIDがありません。	カメラユーザーにユーザーIDを追加します。
	プリバッファビデオが完了していません。プリバッファ時間が、AXIS Body Worn Managerで設定された時間より短くなっています。	カメラがオンになった直後、または前回の録画が終了した直後に録画を開始します。	-
		前回の録画が終了した直後に録画を開始しました。	
		AXIS W100およびAXIS W101の場合、動きが激しい、または低光量の非常に複雑な撮影シーンで最大解像度1080pを使用すると、プリバッファメモリーがいっぱいになる可能性があります。	

	問題	原因	解決策
	画像がかすんで見えます。	レンズが汚れています。	レンズを清掃します。カメラのユーザーマニュアル (*help.axis.com*) の**クリーニング**を参照してください。
		保護フィルムがレンズウィンドウに残っています。	保護フィルムをはがしてください。
	録画に音声がありません。	カメラプロファイルで音声がオフになっています。	AXIS Body Worn Managerのカメラプロファイルで音声がオンになっていることを確認してください。
	場所データを録画していません。	カメラの起動後に最初のGPS位置を受信するのにかかる時間は屋外環境によって異なります。たとえば、高い建物や大気の湿度などによって、最初のGPS位置を取得するのに要する時間が長くなる場合があります。	-
		カメラプロファイルで場所データがオフになっています。	カメラプロファイルに移動し、**場所データ**をオンにしてください。を参照してください。
		装着式システムの時刻が間違っています。	正しいシステム時刻を設定してください。を参照してください。
ホルスターセンサー	ホルスターに装着していない場合に録画が開始されない。	ホルスターセンサーがカメラに接続されていません。	カメラをホルスターセンサーに接続する場合は、カメラを装着解除してから10分以内に、ホルスターセンサーがカメラの範囲内にある必要があります。通常の状況で、範囲は5 ~ 10 m (16 ~33 フィート) です。
		ホルスターセンサーがキャリブレーションされていません。	ホルスターセンサーをキャリブレーションします。詳細については、*Yardarmサポート*ページをご覧ください。
	ホルスターセンサーがカメラとのペアリングまたは接続を行わない。	Holster Aware Setup モバイルアプリケーションがホルスターセンサーに接続されています。	Holster Aware Setup モバイルアプリケーションを閉じて、ペアリングプロセスを再開します。

一般的なトラブルシューティングの手順

装着式システムで問題が発生している原因がわからない場合は、以下のいずれかの対策を実行することができます。

カメラ

1. 装着式カメラを再起動します。
   - カメラがドッキングされている場合は、カメラのドッキングを解除し、もう一度ドッキングします。
   - カメラのドッキングが解除されている場合は、電源ボタンを使用して電源を切り、再度電源を入れます。
2. 最新の装置ソフトウェアバージョンを使用して、装着式カメラをアップグレードします。を参照してください。
3. カメラをドッキングし、AXIS Body Managerを通してシステムから削除します。これでカメラは工場出荷時の設定に戻ります。もう一度カメラをシステムに追加します。を参照してください。

システムコントローラー

1. システムコントローラーを再起動します。を参照してください。再起動中は、システムコントローラストレージ上のログと録画はそのまま残ります。
2. 最新の装置ソフトウェアバージョンを使用して、システムコントローラーをアップグレードします。を参照してください。
3. 以下の方法のいずれかを使用して、拡張システムコントローラーを工場出荷時の設定にリセットします (これは、装着式システムが最初に作成されたシステムコントローラーには適用されません)。
   - 拡張システムコントローラーのリセットは、AXIS Body Worn Managerから行うことをお勧めします。を参照してください。
   - 上記の方法が不可能な場合は、拡張システムコントローラーにアクセスし、[Reset system controller (システムコントローラーのリセット)] をクリックします。
4. 装着式システムを工場出荷時の設定にリセットします。を参照してください。

発生する可能性のある問題を特定する方法の詳細については、およびも参照してください。

さらに支援が必要ですか?

サポートに問い合わせる

さらにサポートが必要な場合は、*axis.com/support*にアクセスしてください。

Axisとのデータの共有

当社では、製品がどのように使用され、動作しているかに関する匿名データを収集しています。これにより、製品とユーザー体験の改善が可能になります。Axisが個人情報を収集することはありません。詳細については、*Privacy Policy (プライバシーポリシー)*をご覧ください。

プライバシー設定を変更するには、[Settings (設定)] > [System (システム)] > [Privacy (プライバシー)] の順に移動します。

T10135878_ja

2025-03 (M38.3)

© 2020 – 2025 Axis Communications AB